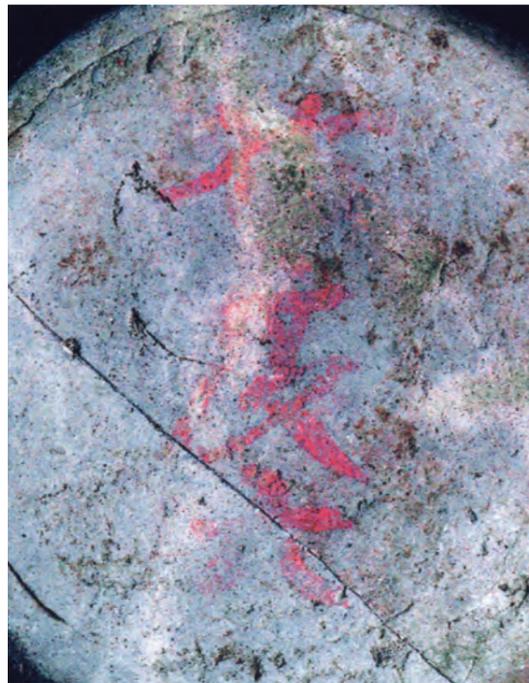


平成13年度(2001年度)

日田市埋蔵文化財年報

日田市埋蔵文化財年報



日田市埋蔵文化財年報

日田市埋蔵文化財年報

発 刊 に あ た っ て

平成 13 年度の埋蔵文化財調査は市内各所で行われ、縄文時代から中世にわたる遺跡が発見されました。

中でも穴観音古墳の確認調査では、これまで確認されていなかった周溝の存在が明らかになり、規模は径 25 m になることが判明しました。今後、この成果をもとに穴観音古墳の史跡地の追加指定を行っていくことにしております。

また、前年度まで増加の一途をたどってきました各種開発事業に伴う発掘調査は、今年度は 7 件と減少しました。しかし、今後も増減を繰り返しながらも開発事業は続くことが考えられ、開発者に対して埋蔵文化財への理解を一層求め、遺跡の現地説明会や展示会などで広く普及・啓発を行っていきたいと考えております。

最後に、この 1 年間日田市の埋蔵文化財の調査および普及・啓発に並々ならぬご協力・ご指導を賜りました関係者の皆様方に心よりお礼申し上げます。

平成 14 年 12 月

日田市教育委員会

教育長 後 藤 元 晴

例 言

1. 本書は平成 13 年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財保護事業の概要をまとめたものである。
2. 発掘調査における遺物・図面・写真類等の資料については日田市埋蔵文化財センターで保管・展示している。
3. 受領図書は平成 13 年 4 月 1 日から平成 14 年 3 月 31 日までの間に日田市教育委員会に寄贈された書物を掲載し、合わせて日田市立博物館あての書物も掲載した。
4. 表紙の写真は大肥条里吉竹地区の空中写真、裏表紙は同遺跡出土の朱墨土器の写真を使用した。
5. 本書に掲載した図面の作成・製図は各担当者が行い、受領図書一覧表の作成では伊藤一美氏の協力を得た。
6. 本書の執筆は。I - 1)、II、III、IVを若杉が行ったほかは、各担当者が行った。
7. 編集は各担当者間で協議し、若杉が行った。

目 次

発刊にあたって

I 平成 13 年度埋蔵文化財調査事業	1
1) 平成 13 年度の埋蔵文化財調査の概要	1
2) 発掘調査・確認調査の概要	4
3) 試掘調査・立会調査・照会の概要	24
II 埋蔵文化財センター移転事業	30
III 平成 13 年度の埋蔵文化財普及・啓発事業	31
1) 大肥条里吉竹地区体験発掘	31
2) 穴観音古墳現地説明会	31
3) 平成 13 年度の刊行物一覧	31
IV 平成 13 年度埋蔵文化財センター受領図書一覧	32

I 平成13年度の埋蔵文化財調査事業

1) 平成13年度埋蔵文化財調査の概要

平成13年度の発掘調査等の動向（表1）

平成13年度は公共・民間開発に伴う埋蔵文化財包蔵地の事前照会件数は次年度試掘調査予定分を含めて30件に上り、試掘・立会調査件数は26件、試掘調査により発掘調査に至ったものを含めた発掘調査は8件であった。

発掘調査は民間開発に伴うものが、前年度継続分を含めて3件と前年度より6件減となった。事業内容としては宅地造成、畑地開墾、畑地造成がそれぞれ1件ずつである。公共事業に伴う発掘調査は農業基盤整備事業に伴う大肥条里吉竹地区、葛原遺跡の2件、市道建設に伴う高瀬条里深野田地区、今泉遺跡の2件を実施した。その他、範囲内容確認を目的として穴観音古墳の確認調査を実施した。

全体として、発掘調査件数は前年度より減少しているものの、大規模な農業基盤整備事業に伴う調査により調査面積の減少率は小さい。また、今後数年間にわたり同様の事業が計画されていることもあり、調査体制の整備が課題となろう。

平成13年度の発掘調査の内容（表2、第1図）

本年度も旧石器時代の調査例はなかった。縄文時代の調査としては大肥条里吉竹地区が挙げられる。後期の船元系の土器が出土しており、豊前と筑後を結ぶ交通の要所としての当遺跡の特質が指摘できる成果といえよう。また、高瀬条里深野田地区では土坑から後期の磨消縄文土器が出土している。この土坑の中央には小さいピットも検出されており、狩猟の場としての性格もあつたものと考えられる。

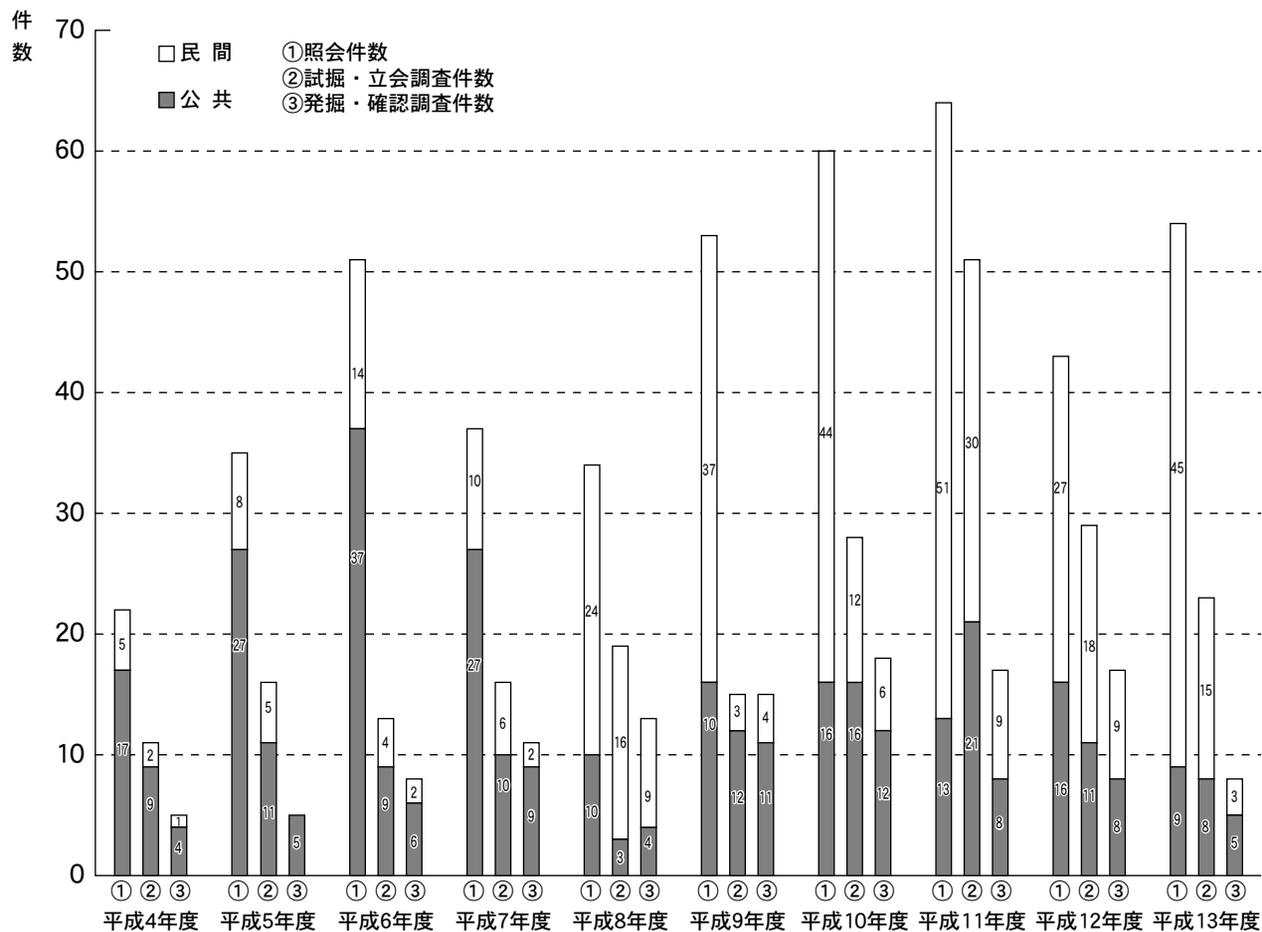
弥生時代の調査では、本村遺跡3次で弥生時代後期後半の集落が確認され、住居内より仿製鏡片（破鏡）が出土している。遺跡北側にある草場第二遺跡の墓地との関係を含め、台地裾部に展開する集落の様相が明らかになりつつある。また、今泉遺跡では後期前半から中頃の竪穴住居跡が確認され、吹上遺跡の集落が営まれた時期と合致する。吹上遺跡周辺では台地以外の箇所での集落の調査例はないことから、当該期の沖積地利用を考える上では重要な調査例となろう。朝日宮ノ原遺跡E区では中期後半から末にかけての甕棺墓が調査され、また甕棺墓周辺からは木棺墓や土坑墓も検出された。当遺跡が所在する台地の北側では弥生時代終末から古墳時代前期の墓地群も調査されており、台地全体が墓地として時期を変えながらも広く利用されている状況が窺える。

古墳時代遺跡の調査では、本村遺跡3次で後期の集落が確認された。また、大肥条里吉竹地区では、後期中頃から古代にかけての集落が調査されている。このほか葛原遺跡でも後期の竪穴住居跡が確認され、遺跡周辺も含めて台地一帯に集落が展開していることが窺える。高瀬条里深野田地区では土坑が確認されている。また今泉遺跡では竪穴住居跡が調査されており、遺跡背後の台地崖面に展開する北友田横穴墓群の被葬者の集落とみることでもでき、横穴墓と集落が近接する日田盆地での傾向と合致している状況が指摘できる。穴観音古墳の調査では現存している墳丘の周囲にトレンチを設定した結果、周溝と墳丘盛土の一部が確認され、周溝を含めた墳丘規模は径約25mになることが判明した。

古代の遺跡の調査では本村遺跡3次、大肥条里吉竹地区で古墳時代から継続する集落が確認されている。特に大肥条里吉竹地区では8世紀代まで集落が継続し、それらを囲む溝の存在が確認され、この地域における中心的な集落であったことが想定できる。さらにこの時期の竪穴遺構からは、「□□六」や「□□四」と朱墨で書かれた土器も出土していることから官衙的な様相をもった集落であった可能性も考えられる。

中世の遺跡の調査では、本村遺跡3次・4次で掘立柱建物が確認されている。

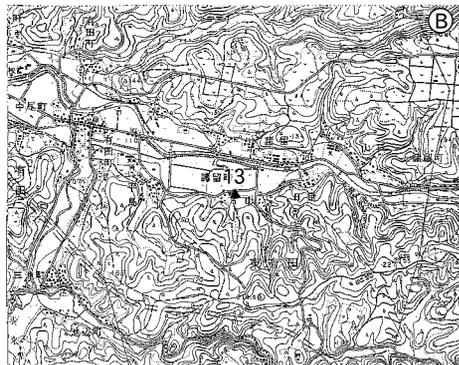
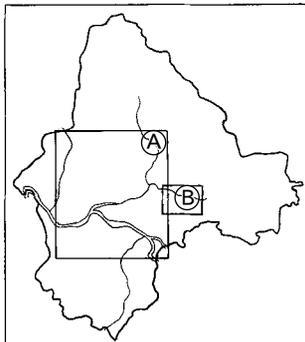
表1 埋蔵文化財の調査件数推移グラフ



	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度
調査員数	2	2	3	4	4	5	3 (4)	4	3 (4)	4
嘱託職員数	1	1	1	1	1	0	2	1	0	0

表2 平成13年度発掘・確認調査一覧表

番号	遺跡名	所在地	調査原因	調査面積	調査年月日	備考
1	本村遺跡3次	渡里字本村 936-4 ほか	宅地造成	450 m ²	130401 ~ 130531	前年度継続
2	大肥条里吉竹地区	大肥字榎町 453-1 ほか	圃場整備	8270 m ²	130401 ~ 130524	前年度継続
3	葛原遺跡	西有田字亀城 1812-3 ほか	農道建設	920 m ²	130802 ~ 130921	
4	高瀬条里深野田地区	高瀬字深野田 950-1	市道建設	300 m ²	130808 ~ 130928	
5	今泉遺跡	友田字今泉	市道建設	200 m ²	131009 ~ 131031	
6	本村遺跡4次	小迫字浄光院 1158-1 ほか	畑地造成	320 m ²	140109 ~ 140131	
7	朝日宮ノ原遺跡E区	小迫字十石山ノ上 1510-2	畑地開墾	30 m ²	140208 ~ 140218	
8	穴観音古墳	内河野字倉園 5 ほか	確認調査	62 m ²	140212 ~ 140327	



●発掘、確認調査
▲試掘、立会調査

平成13年度発掘調査遺跡位置図 (1/50,000)

2) 発掘調査・確認調査の概要

1. 本村遺跡3次 (HMR-3) -宅地造成に伴う発掘調査-

所在地	渡里字本村936-4ほか	調査面積	450m ²
調査の期間	130401~130531	担当者	行時志郎・若杉竜太

遺跡の概要

遺跡は日田盆地北部の丘陵裾にあたり、遺跡北西部にある辻原台地では古墳時代前期の豪族居館が発見された小迫辻原遺跡、遺跡北側の丘陵上には弥生時代後期から古墳時代前期の墓地群が見つかった草場第2遺跡が存在する。さらに遺跡南側の台地には弥生時代中期の首長墓や後期の環濠集落が発見された吹上遺跡がある。

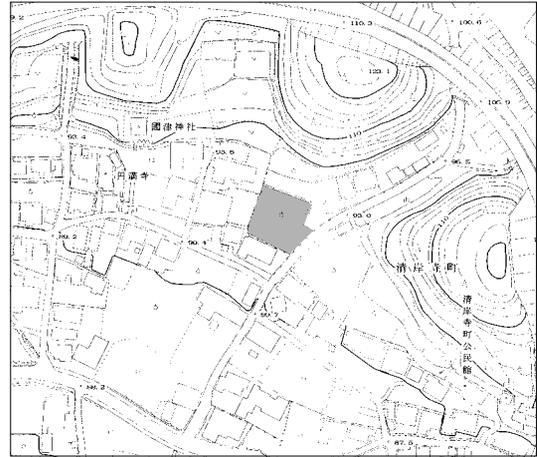
調査は前年度の継続として行われた。その結果、弥生時代から中世にかけての竪穴住居跡43軒、竪穴遺構2基、溝1条、掘立柱建物2棟が検出された。弥生時代の遺構としては後期後半の時期を中心に竪穴住居跡17軒、竪穴遺構1基がある。これらの

住居跡は遺跡北側の草場第2遺跡の甕棺墓や石棺墓と時期的に重複し、これらの墓に埋葬された人々の集落が本遺跡に当たる可能性が十分考えられる。また、この時期の住居跡より仿製の鏡片が1点出土したが、草場第2遺跡の墓からは鏡片が出土しており、このことから両遺跡の関係を窺うことができよう。

古墳時代以降の住居跡はカマドをもつ後期から奈良時代にかけて26軒が重なるようにして作られており、さらに中世の掘立柱建物跡も検出された。

今回の調査では弥生時代から中世にかけて継続して営まれた集落の姿が明らかになった。平成12年度に行われた本遺跡の東側にある2次調査区では弥生時代後期後半から終末、古墳時代後期から奈良時代にかけての集落が確認されており、その広がりを見ることができた。また、2次調査区では中世墓が3基検出されており、今回の調査で確認された掘立柱建物との関係も注目することができる。

これまでの本遺跡周辺の調査から、弥生時代後期から中世にかけての遺構を確認することができた。これらの遺構は継続的に営まれている可能性もあり、現在の集落が近世期に成立したと考えれば、弥生時代後期から現在まで集落が断続的に営まれていたことになり、各時代の集落景観を復元する上で貴重な成果があったといえることができる。(若杉)



遺跡位置図 (1/5,000)



鏡片出土状況



17号竖穴住居完掘状况



3号竖穴住居完掘状况

2. 大肥条里吉竹地区 (OJ - YT) - 県営圃場整備事業に伴う発掘調査 -

所在地 大肥字榎町453-1ほか

調査面積 8,270㎡

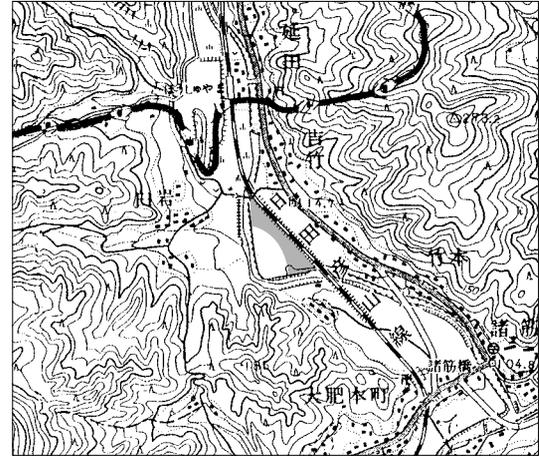
調査の期間 130409~130524

担当者 渡邊隆行

遺跡の概要

遺跡は大肥川が鶴河内川と合流する地点の手前の大肥川左岸に位置し、やや開けた標高 111 m 前後の河岸段丘上に位置する。福岡県との県境にあたり、北にいくと宝珠山村を通り添田方面へ抜け、南には大肥川沿いに大肥条里中村地区、祝原地区、東には大肥条里下河内地区が存在する。

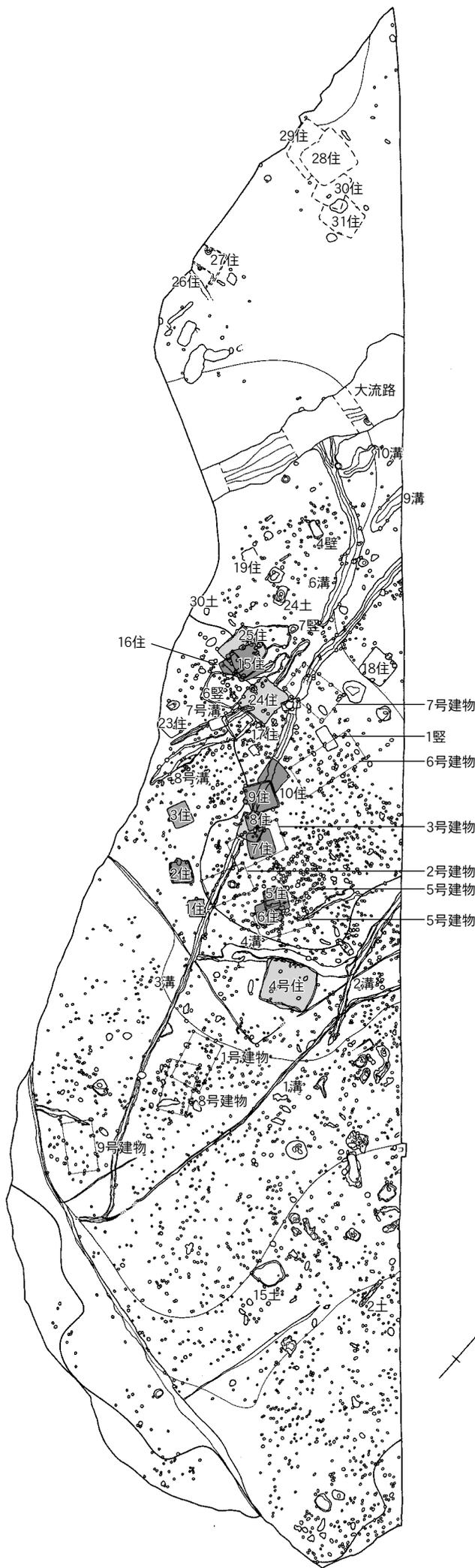
調査は昨年度に引き続いて行った。調査区からは、縄文時代後期の土坑 1 基、古墳時代の住居跡 8 基、古代の住居跡 16 基、時期の明確でない住居跡 8 基、掘立柱建物 9 基、竪穴状遺構 6 基、土坑約 20 基、溝 4 条、流路 5 条、ピット多数、包含層、中世水田層が検出された。古墳～古代の遺構は明黄褐色砂質土



遺跡位置図 (1/5,000)

の地山を掘り込んで検出された。ただし、この層自体も縄文時代以降の時期の遺物包含層であることから、大肥川の氾濫を繰り返して形成された層の上に集落が営まれていたものと思われる。

15号土坑より出土した縄文時代の船元系土器は、日田市内でも初めての出土例である。やや時期は異なるものの、川を下った大肥条里祝原地区では後期～晩期の遺構や遺物が多数検出されており、また鶴河内川沿いには前期の遺構・遺物が検出された大肥条里下河内地区が存在する。これらのことから、大鶴の谷沿いの河岸段丘上が縄文時代には積極的に活用されていたものと考えられる。また、6世紀中頃～8世紀代の住居跡群と多くの建物の存在は、この遺跡が一過性の集落ではなく、この地域の中心となる集落であった可能性が考えられる。特に古代においてはそれらを示すような資料の出土がみられた。1号竪穴遺構からは瓦、住居跡からは『□□六』(16号住居跡)、『□□四』(18号住居跡)の字が底面に朱墨にて書かれた須恵器杯身が出土した。いずれも8世紀代の所産であると考えられる。文字の読みについて今後の整理において明らかにしていきたい。また、1号溝から南西側にはほとんど住居跡が検出されず、風倒木などが多数確認された。このことも集落の造営において何らかの意図が存在したことを示しており、この集落の特質を示しているものと思われる。さてこのような状況は、この遺跡が古代の官衙等に相当する施設であった可能性を示唆している。『豊後国風土記』では日田には5郷(在田・夜関・日理、父連、石井)があったと解釈されている。この遺跡の存在は大鶴地域が今一つその地域の比定ができていない夜関郷にあたる可能性を検討する重要な資料であると考えられる。このように、今回の成果はこれまで明らかにされていなかった大鶴地区の古墳～古代の集落がどのように形成されていったのかを明らかとする貴重な資料となりものであり、筑後平野、北九州と日田を結ぶ交通の要所としての大鶴の重要性を検討するための重要な資料と考えられる。



遺構配置図 (1/1,000)



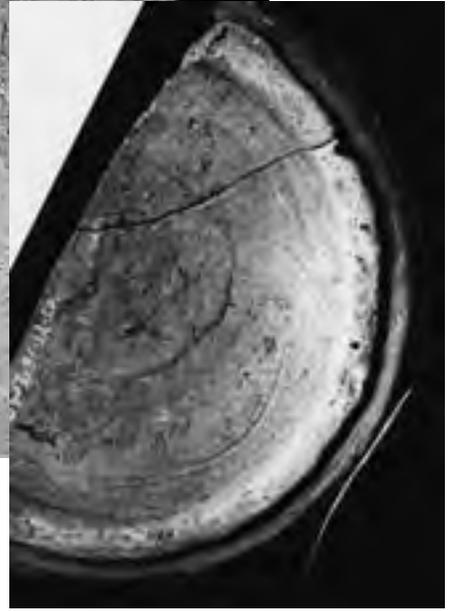
遺跡全景



住居跡群



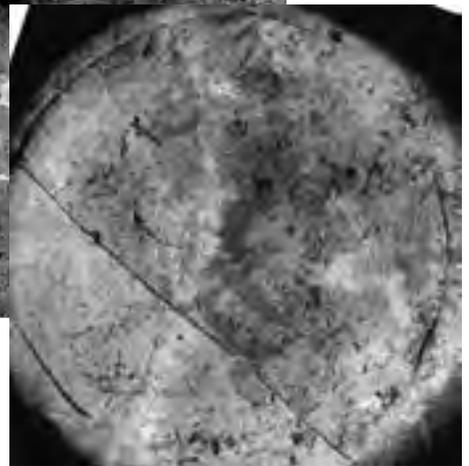
16号竖穴住居跡朱墨出土状況



同朱墨土器出土状況



18号竖穴住居跡朱墨出土状況



同朱墨土器出土状況

3. 葛原遺跡J区 (KZS - J) - 広域農道建設に伴う発掘調査 -

所在地	西有田字亀城1812-3ほか	調査面積	920㎡
調査の期間	130802~130921	担当者	渡邊隆行

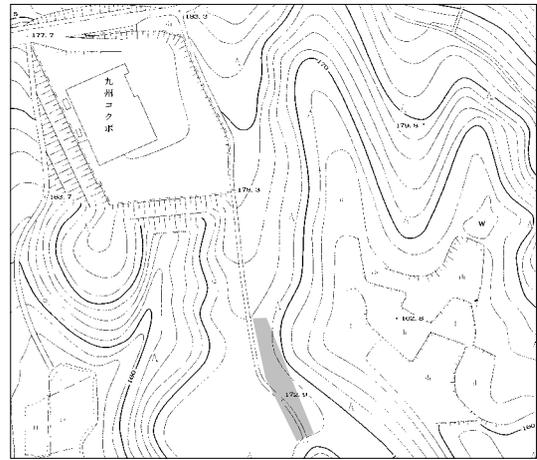
遺跡の概要

遺跡は日田盆地北部の花月川によって形成された沖積地との比高差約30mを測る葛原台地上の西端に位置している。遺跡の眼下に広がる沖積地には弥生時代後期の環濠集落が発見された三和教田遺跡、台地南側の丘陵上には西有田赤ハゲ遺跡、やや下った有田川沿いの沖積地には大行事遺跡などが所在する。

昭和62年の調査では弥生時代前期の土坑をはじめ、古墳時代後期の竪穴住居跡などが確認されており、平成6年の調査では弥生時代前期末から後期前半の竪穴住居跡、土坑等が確認されている。今回の調査地点の北西側では平成8年に調査で、縄文時代後期の竪穴住居跡、土坑等が確認されている。また、谷を挟んだ西側には古墳時代後期の円墳である葛原古墳が所在している。

今回の調査地点はこれまでの葛原遺跡の調査地点のうちJ区にあたる。調査区は葛原台地の東端の独立丘陵の東側に向いた緩斜面上に位置している。調査区中央付近では緩い谷地を形成しており、この谷に沿うように遺構が検出された。調査では、竪穴住居跡13軒、竪穴遺構3基、溝3条、土坑4基、ピットなどが検出された。

竪穴住居跡群は出土した土器から古墳時代後期に位置するものと考えられ、狭い谷地に何度も住居を建替えていることから、調査区周辺が集落立地に適していたのかあるいは何らかの集落立地に規制があったものと考えられる。谷を挟んだ台地上にもこれまでの調査から古墳時代後期の竪穴住居跡が確認されていることから、この台地一帯に古墳時代後期の集落が展開していたものと考えられる。



遺跡位置図 (1/5,000)



遺跡全景



調査区全景



2号竪穴住居跡

4. 高瀬条里深野田地区 (TJ - FK) - 市道建設に伴う発掘調査 -

所在地	高瀬字深野田950-1ほか	調査面積	300㎡
調査の期間	130808～130928	担当者	行時志郎

遺跡の概要

遺跡は高瀬川左岸河岸段丘上に位置している。遺跡の南側には、津江山系より派生する尾根筋が迫っており、その先端には比較的平坦な台地や丘陵が広がっている。その眼下に展開する沖積地は三隈川と高瀬川による侵食作用により形成され、北に向かって緩やかに傾斜している。調査区はこの沖積地が扇状に広がっていく要の位置にあたる。

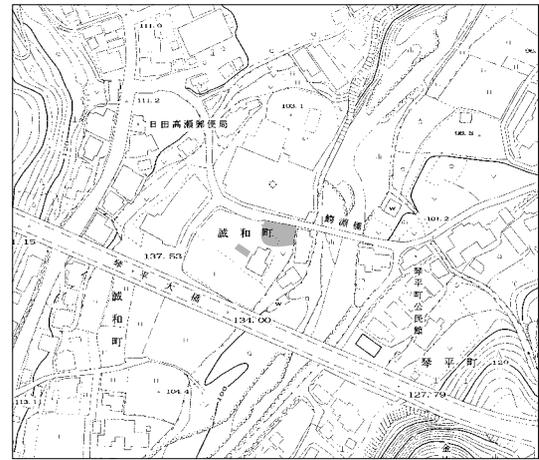
この調査区からは、土坑4基と竪穴遺構1基、時期不明のピット群が検出された。土坑からは、少量ながら縄文時代後期の特徴を持つ磨消縄文土器が出土し、竪穴遺構からは、古墳時代中期の特徴を持つ甕や高杯が数点出土した。土坑の中央には、小さいピットが検出されたものもあったことから落とし穴状遺構の可能性が高く、この一体が、縄文時代の狩猟の場としての機能していたと考えられる。また、古墳時代の遺構は、竪穴遺構1基のみの検出であったが、隣接して調査された高瀬条里深ノ田遺跡からも、弥生時代終末から古墳時代前期の竪穴住居跡と見られる遺構が重複して確認されており、弥生～古墳時代の集落の広がりが推測される⁽¹⁾。

調査の成果として、この遺跡の北側で調査された高瀬条里永平寺地区や、高瀬川右岸に広がる惣田遺跡などを見ると、縄文時代から中世にかけて何らかの形で生活の跡が残されており、この地域一帯の沖積地が古くから土地利用がさかんに行われてきた場所であったことが明らかとなった。

近年この地区は、今回の調査の起因となった市道建設などとともに小規模な宅地開発が盛んに進んできている地域であり、住民の方の文化財に対するご理解とご協力が必要な地域のひとつである。

近年この地区は、今回の調査の起因となった市道建設などとともに小規模な宅地開発が盛んに進んできている地域であり、住民の方の文化財に対するご理解とご協力が必要な地域のひとつである。

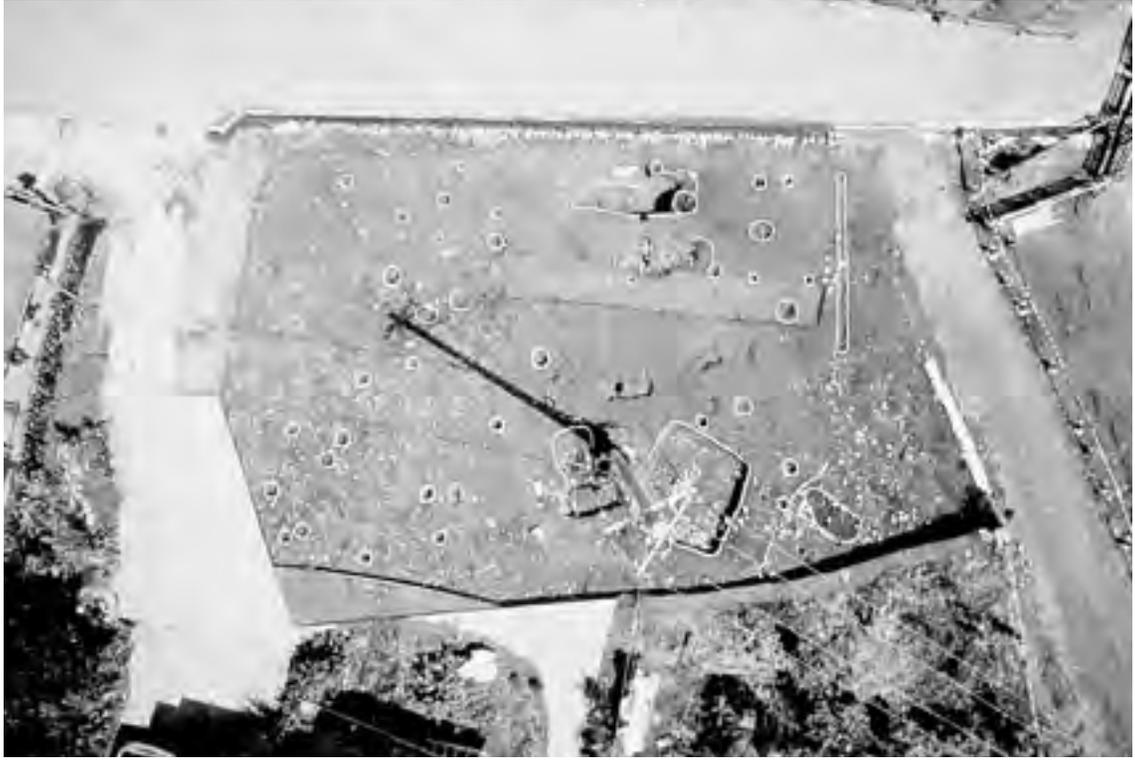
註 (1) 友岡信彦・吉田寛「第6章 高瀬深ノ田遺跡」田中祐介編『日田市高瀬遺跡群の調査1』一般国道210号日田バイパス建設に伴う発掘調査報告書I 大分県教育委員会1995



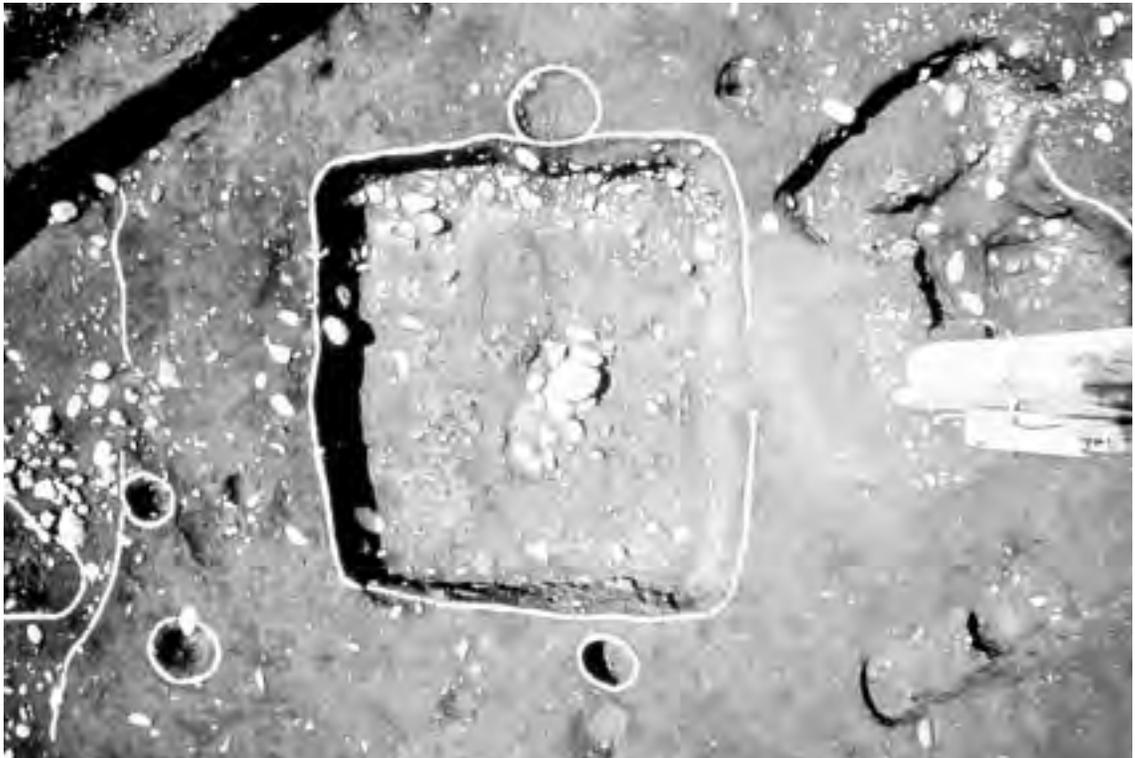
遺跡位置図 (1/5,000)



遺跡全景



遺跡全景



1号竖穴遺構

5. 今泉遺跡 (IMI) - 市道建設に伴う発掘調査 -

所在地	友田字今泉1413-3ほか	調査面積	200㎡
調査の期間	131009～131031	担当者	行時志郎・渡邊隆行

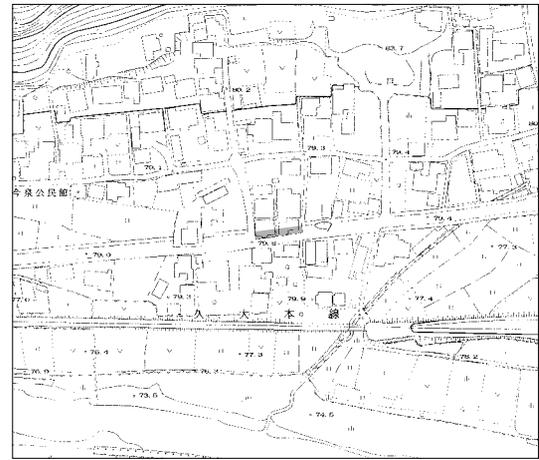
遺跡の概要

遺跡は日田盆地北部を西流する花月川右岸の河岸段丘上に位置する。北側の吹上台地上には細形銅剣、銅矛、鉄剣、ガラス管玉、貝輪などの多様な副葬品を持つ木棺、甕棺墓群が発見された吹上遺跡があり、遺跡東側には1342年に創建された岳林寺が所在し、花月川を挟んだ対岸の沖積地には弥生時代から中世の溝が発見された郷四郎遺跡があり、花月川との合流点付近には古墳時代の鍛冶遺構・祭祀遺構などが発見された荻鶴遺跡があり、台地側には古墳時代後期の円墳である三郎丸古墳、独立丘陵の周囲に横穴墓が巡る星隈横穴墓群が見られる。

遺跡はこれまで市道改良に伴って2次の確認調査を行っており、今回は3次の調査にあたる。調査区からは弥生時代の竪穴住居跡1軒、溝1条、6世紀後半と7世紀中頃～後半の溝2条、古墳～古代の竪穴住居跡1軒、中世以降の溝1条が検出された。

弥生時代の竪穴住居跡の時期は後期前半～中頃に属しており、吹上遺跡の集落継続期間とも合致することから、台地上での集落形成以外に、台地の眼下に広がる沖積地を利用していたことが明らかとなった。これまで、吹上遺跡の周辺においては、台地以外の箇所でも集落が発見された例がなく、また、吹上の台地上では後期の末にかけて環濠集落が形成されるようになることから、その前段階において、台地以外の場所にも集落が広がっていた状況を示している。また、古墳時代から古代の遺構の存在は、台地崖面に所在する北友田横穴墓群の被葬者の集落の存在を示すものと考えられ、被葬者の集落が横穴墓近辺に立地する日田市内での傾向とも合致している。

今回の調査から、これまで想定されていなかった花月川と吹上台地との狭い沖積地の利用状況があきらかとなった。しかし、遺跡のすぐ東には、1342年に元の渡来僧明極楚俊を開基として大蔵永貞によって建立された岳林寺があり、遺跡一帯はこの境内範囲にあたる。今回の調査からはその状況を示す資料の出土は見られなかった。岳林寺との関連については今後の調査の課題と言えよう。(渡邊)



遺跡位置図 (1/5,000)



遺跡全景



遺跡全景



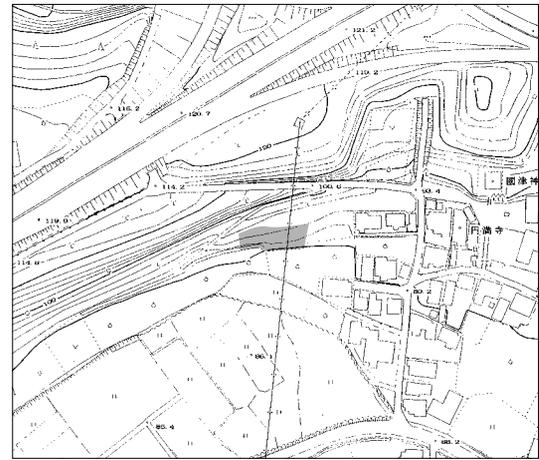
2号竖穴遺構

6. 本村遺跡4次（HMR－4）－畑地造成に伴う発掘調査－

所在地	小迫字浄光院1158-1ほか	調査面積	320㎡
調査の期間	140109～140131	担当者	行時志郎・若杉竜太

遺跡の概要

本村遺跡は盆地北部の丘陵裾部に位置する。本遺跡はこれまでに3次にわたる調査が行われており、弥生時代から近世にいたる遺構が調査されている。4次調査区の東隣での2次調査、同じく東約100mの地点で行われた3次調査では住居跡より弥生時代後期後半～終末にかけての「タタキ整形」を行った長胴甕などが主体で出土している。3次調査ではこの時期の住居跡から仿製鏡片が出土したが、これらの住居跡の時期が調査区北側丘陵上にある草場第2遺跡での墓地群の時期と一致する上、同遺跡より鏡片も表採されている。このことから両遺跡は密接な関係にあることが伺え、墓地群に埋葬された人々の集落が本遺跡周辺一帯であった可能性が十分に考えられる。



遺跡位置図 (1/5,000)

今回の調査では2次調査区で確認された集落の広がりをも想定して行ったが、予想以上に遺構の密度は低く、弥生時代から古代にかけての遺構は確認することができなかった。遺構は2次調査区に隣接する東側は密度が低く、西側にいくにつれ、密度が高くなっていった。確認された遺構としては平安時代から中世の掘立柱建物2棟、竪穴遺構2基、土坑6基、柱穴が多数検出された。

平安時代の遺構としては竪穴遺構が挙げられる。遺構内からは10～11世紀にかけての土師器質土器が出土している。また、中世の掘立柱建物のうち1棟は2間×3間、もう1棟は桁行が2間以上の建物が検出された。柱穴内より16世紀代の土器が出土している。

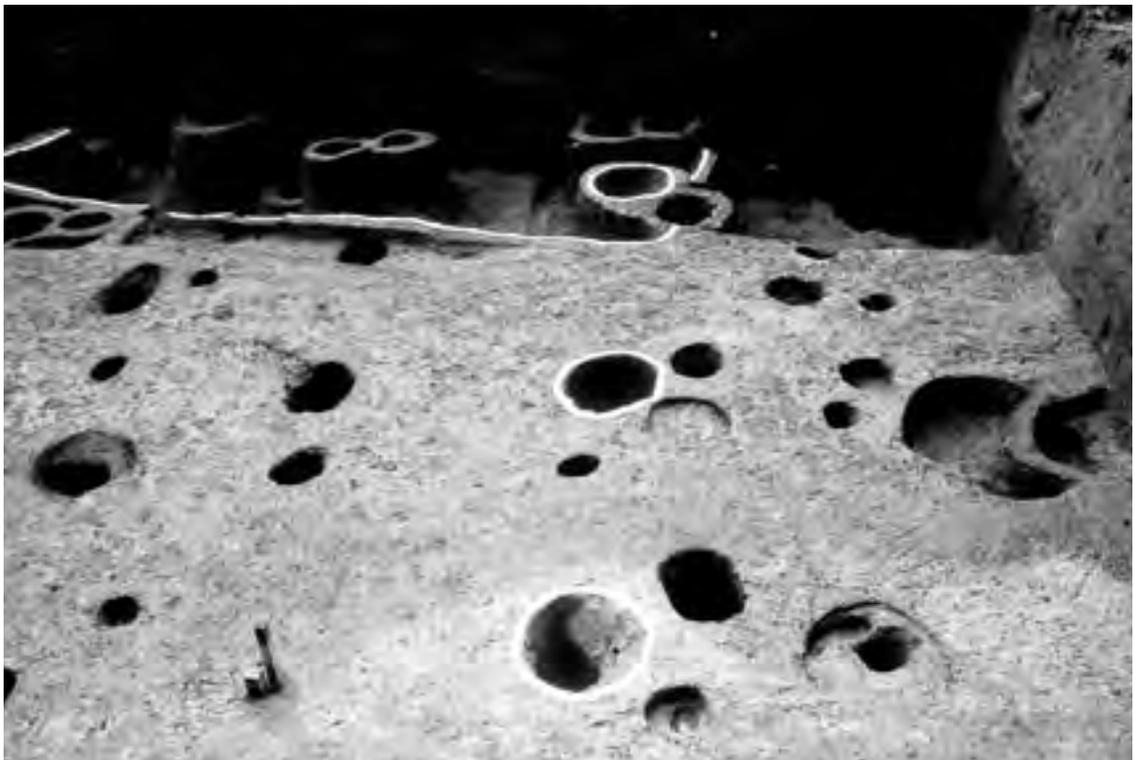
今回の調査では2次調査区で確認された弥生時代から古墳時代にかけての遺構は確認されなかった。地形の現状からみると削平の度合いは少ないとみられるので、2次調査区から東側へは当該期の遺構の広がりも少なかった可能性もある。一方、古代の後半から中世にかけての遺構が確認できたことから2次調査の成果と合わせて、この時期の集落の広がりもある程度想定することはできよう。また、調査区の南東側には規模の大きい落ち込みが見られることから古い段階から現在の地形に近い整地を行い、耕地として利用されていたと考えられる。(若杉)



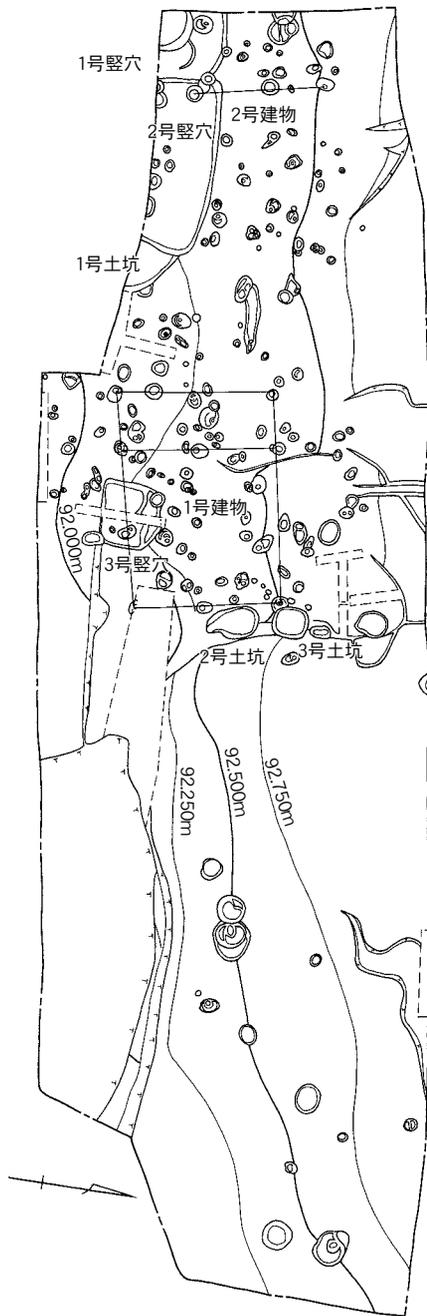
遺跡全景



1号掘立柱建物



2号掘立柱建物



遺構配置図 (1/200)



1号竖穴遺構



2号土坑



3号土坑

7. 朝日宮ノ原遺跡 E 区 (AMS - E) ー畑地開墾に伴う確認調査ー

所在地 小迫字十石山ノ上1510-2

調査面積 30m²

調査の期間 140208~140218

担当者 行時志郎

遺跡の概要

遺跡は日田盆地北部の通称宮原台地上に存在する。これまでこの台地上では、昭和28年に鏡山猛・松尾禎作先生により発掘調査が行われ、甕棺墓出土の報告が行われて以降⁽¹⁾、農家の方による地力増進事業(耕作土の天地返し)などに伴い事前の発掘調査や確認調査が進められてきた。その結果、弥生時代から古墳時代前期にかけての集落や墓地、また中世の集落や墓地など数多くの遺跡が発見されている。

今回の調査に至った経緯は、農家の方が畑の耕作中にトラクターの爪が甕棺に引っかかり、内部から人骨が見つかり教育委員会に連絡が入ったことによる。その後、対応を協議し、農家の方に約2週間の調査期間の承諾を得て、国庫補助事業で緊急調査を実施することとなった。

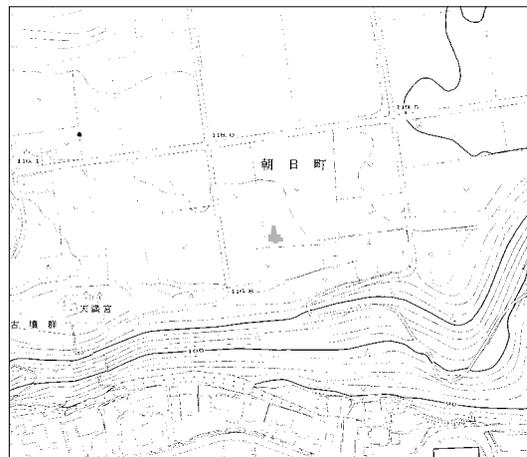
調査では、発見された甕棺以外にも周辺に遺構の存在する可能性が高いことから、まず甕棺墓周辺にトレンチを設定し遺構の存在を判断するための確認作業を行っていった。その結果、甕棺墓のほか、石蓋土坑墓1基、土坑墓2基、木棺墓2基、甕棺の抜き取り跡と見られる土坑1基が密接して検出された。

甕棺墓については、人骨の状況を詳細に記すため、九州大学田中良之先生にこれに関する指導と人骨の取り上げをお願いした。人骨はこの甕棺墓のほか、石蓋土坑墓の中からもわずかに腐食した歯の一部が出土した。

調査の成果としては、甕棺の形状から弥生時代中期後半から末にかけての製作年代が考えられる。また、その周囲の墓の切り合い関係の状況から、1号木棺墓→甕棺墓→1号土坑墓の順に造られていることが伺えた。これまでの調査および地元の方の話を聞く中では、台地北端(D区)で、弥生時代終末から古墳時代前期の墓地群が調査され⁽²⁾、また台地東南端でも石棺墓の棺材と見られる安山岩の扁平石が耕作中に見つかっており、台地縁辺部は今回の調査区も含めて、時代を少しずつ変えながらも広く墓地としての利用がされていった様子がうかがえた。

註(1) 賀川光夫「第4章 弥生文化(五) 弥生時代の墓制」『大分県の考古学』吉川弘文館1971

註(2) 土居和幸「朝日宮ノ原遺跡(D地区)」土居和幸編『日田地区遺跡群発掘調査概要報』IV日田市教育委員会1989



遺跡位置図 (1/5,000)



1号石棺墓検出状況



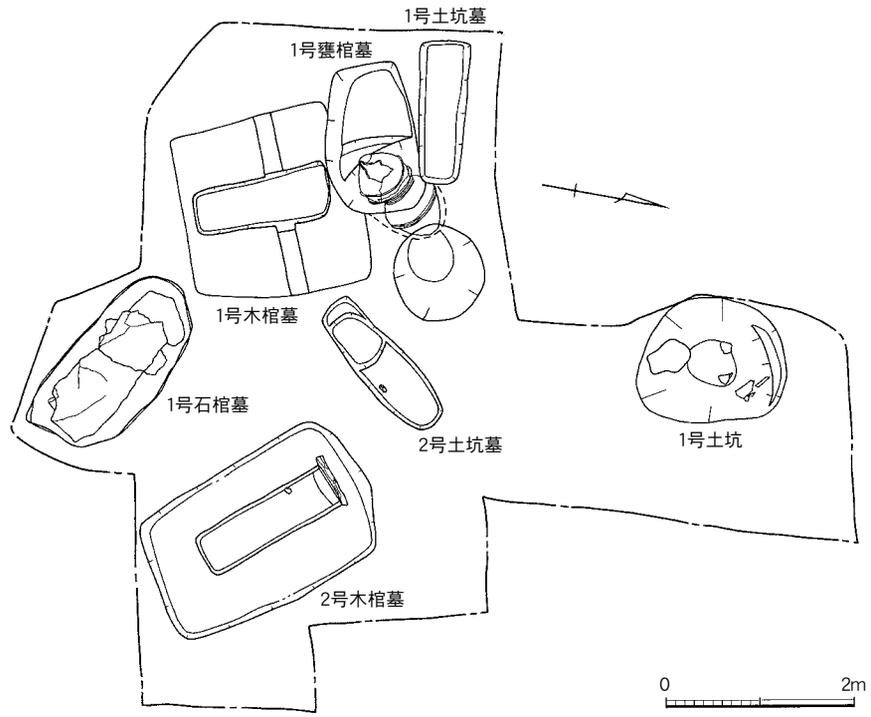
1号石棺墓完掘状況



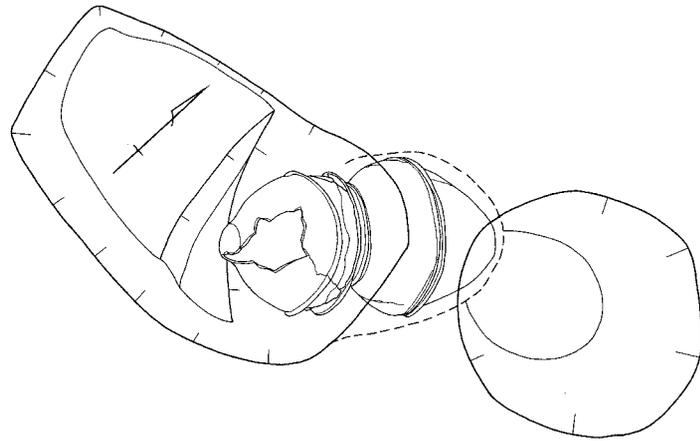
1号甕棺墓



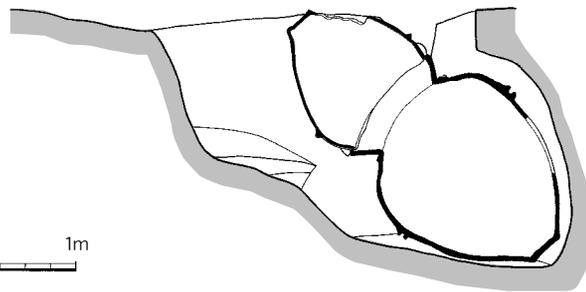
1号甕棺墓人骨出土状况



遺構配置図 (1/80)



118.400m



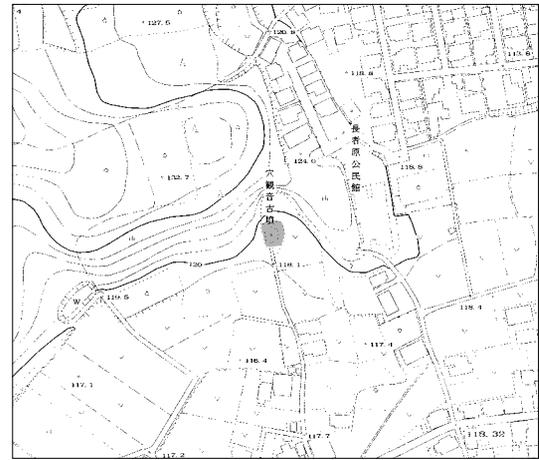
1号壘棺墓実測図 (1/30)

8. 穴観音古墳 (ANK) — 範囲内容確認のための確認調査 —

所在地	内河野字倉園5ほか	調査面積	62㎡
調査の期間	140212～140327	担当者	若杉竜太

遺跡の概要

穴観音古墳は三隈川南岸の台地上に位置する円墳である。古墳の規模は現状で径約12m、高さ約2mである。主体部は複室構造の横穴式石室で、前室両側壁・玄室右側壁・玄室奥壁に赤や緑を使った装飾が描かれている。これらの装飾文様の保護を目的として昭和47年に古墳を覆う屋根と史跡地を取り囲むブロック塀が設置されたが、これにより墳丘盛土の乾燥が進行し、盛土の流出、石室内への外気の進入などにより、装飾の退色・石室の劣化などが問題となっている。今回の調査は今後の古墳の保存対策と追加指定を目的とした古墳の範囲内容の確認を目的として行った。



遺跡位置図 (1/5,000)

調査では古墳の周囲にトレンチを設定し、掘下げを行った。その結果、8本すべてのトレンチより周溝が確認され、また、1トレンチからは上面の削平を受けてはいたものの版築状に盛土された墳丘の一部が確認できた。確認された周溝は幅70～80cm、深さ50～60cmの規模である。

この結果、周溝の外側までを含めた古墳の規模は径約25mとなることが確認された。また、トレンチ内より出土した須恵器より古墳の築造時期は6世紀末から7世紀初頭と考えられ、従来から考えられてきた年代観と大きく隔たらないことが確認できた。

今回の調査では墳丘規模、周溝の確認ができ、築造年代を再確認することができた。今後の課題としては、墓道付近の確認を行い、それに伴った周溝がどのような形態になるのか、また、古墳北側の崖面が古墳の築造築造に伴って削平されたものなのか、中世期の土塁なのか、などを確認すべき課題は多い。



遺跡全景



1 トレンチ周溝



墳丘版築

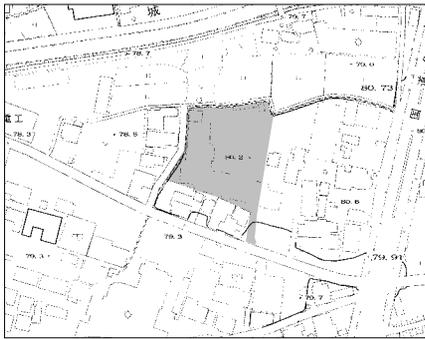
3) 試掘調査・立会調査・照会の概要

表3 試掘・立会調査一覧表

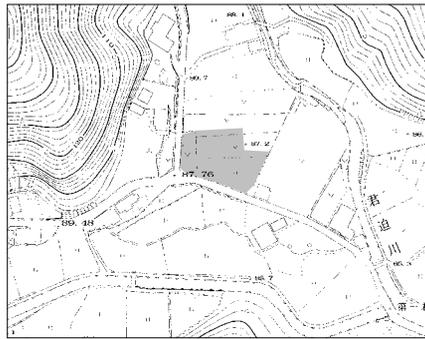
	遺跡名	事業目的	調査場所	開発面積	調査面積	調査期間	遺跡の時代	検出遺構	出土遺物	処置
9	日田条里隣接地	幼稚園新築	十二町字浄明寺 57-1 外	3,870 m ²	20 m ²	130518	-	なし	なし	工事実施
10	君迫遺跡隣接地	作業所・倉庫用地造成	二串字石原田 762-2 外	1,606 m ²	20 m ²	130525	-	なし	なし	工事実施
11	日田条里前田地区	店舗建設	十二町字前田 601-1 外	5,060 m ²	20 m ²	130608	-	なし	なし	工事実施
12	葛原遺跡	駐車場造成	西有田字葛原 810-1	960 m ²	40 m ²	130612 ~ 13	縄文・弥生	住居・柱穴	縄文土器・弥生土器	盛土による工事実施
13	平島遺跡	工場造成	東有田字太郎浦 2067-1 外	2,587 m ²	20 m ²	130705	-	なし	なし	工事実施
14	朝日ヶ丘遺跡	市営住宅建設	小迫字中根の上 438-2	3,900 m ²	117 m ²	130710	-	なし	なし	工事実施
15	高瀬糸里深野田地区	市道建設	高瀬字深野田 809-6	4,500 m ²	15 m ²	130719	-	なし	なし	工事実施
16	鍛冶屋廻り遺跡	宅地造成	小迫字中村 73	984 m ²	30 m ²	130723 ~ 25	弥生・中世	土坑・柱穴	弥生土器・土師器	工事実施
17	草場第二遺跡隣接地	事業用地造成	渡里字一木出 847-1 外	2,800 m ²	20 m ²	130731 ~ 0803	-	なし	土器	工事実施
18	大肥糸里中村地区	公園建設	大肥字乙丸 2790-3	912 m ²	10 m ²	130912	-	なし	なし	工事実施
19	日田条里花月小坪地区	共同住宅建設	花月字小坪 184-1	741 m ²	10 m ²	130914	-	なし	なし	工事実施
20	本村遺跡	畑地造成	小迫字浄光院 1183 外	1,683 m ²	10 m ²	130925	弥生~中世	墓・柱穴・住居	弥生土器・土師器	発掘調査実施
21	日田条里花ノ木地区	貸駐車場用地造成	十二町字花ノ木 523-5	1,159 m ²	34 m ²	131026	古代~近世	土坑・水田遺構	土器	盛土による工事実施
22	徳瀬遺跡隣接地	共同住宅建設	友田字徳瀬 400-1	908 m ²	35 m ²	131115	古墳~近世	なし	須恵器・土師器・陶磁器	工事実施
23	三和教田遺跡1地点	宅地造成	三和字西ノ更 2654 外	2,819 m ²	83 m ²	131121 ~ 22	縄文~古墳・中世	流路跡・溝・柱穴	須恵器・土師器・陶磁器	一部発掘調査実施
24	会所山遺跡隣接地	宅地造成	竹田字塚塚 353-13 外	6,300 m ²	142 m ²	131205	中世	水田遺構	土師器	工事実施
25	赤米田遺跡	市道建設	小山字月ノ原 443 外	1,100 m ²	22 m ²	131219	-	なし	なし	工事実施
26	日田条里五反田地区	住宅建設	三和字五反田 659-4 外	409 m ²	27 m ²	140117	-	なし	なし	工事実施
27	日田条里高外場地区	市道建設	上城内町 1107-5 外	8,000 m ²	39 m ²	140129	-	なし	土師器	工事実施
28	柴尾遺跡隣接地	残土処理場建設	西有田字籠田 2125-1 外	3,000 m ²	12 m ²	140131	-	なし	なし	工事実施
29	日田条里飛矢地区	教会新築工事	田島字飛矢 259	637 m ²	32 m ²	140209	弥生・中世	住居・溝・土坑・柱穴	弥生土器・土師器	発掘調査実施
30	大肥糸里大肥地区	農業基盤整備	大肥字中島外	250,000 m ²	1,510 m ²	140212 ~ 0304	弥生~古代	住居・溝・土坑	弥生土器・須恵器・土師器	一部発掘調査実施
31	求来里平島遺跡他	農業基盤整備	求来里字平島外	200,000 m ²	275 m ²	140311 ~ 20	弥生~中世	住居・柱穴	弥生土器・土師器・須恵器・輸入陶磁器	一部発掘調査実施
32	小寒水遺跡	宅地転用	有田字五反田 1539-1 外	1,620 m ²	30 m ²	140325	古代	溝	土師器	盛土による工事実施
33	今泉遺跡	市道建設	友田字今泉 1413-3 外	6,960 m ²	15 m ²	140305	弥生~中世	柱穴・土坑	弥生土器・土師器	盛土による工事実施
34	葛原遺跡	広域農道建設	西有田字亀城 1825-2 外	13,530 m ²	220 m ²	130802	-	-	-	工事実施

表4 書類審査のみ照会一覧

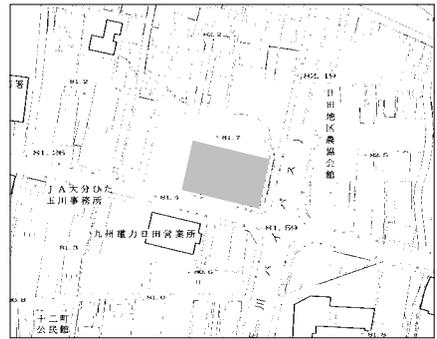
受付月日	事業主体	事業目的	予定場所	開発面積	備考
2001/4/2	民間	宅地造成	夜明字深田 3744 他	1,318 m ²	
2001/5/1	民間	中間積み替え施設建設	花月字鳴石 2351-1 他	4,131 m ²	
2001/5/29	民間	グラウンド造成	三和字大更 164-1 他	1,187 m ²	
2001/6/5	民間	資材置場造成	内河野字鹿廻 1711-3 他	10,985 m ²	
2001/6/5	民間	資材置場造成	内河野字鹿廻 1711-4 他	8,012 m ²	
2001/6/6	民間	畜産施設用地造成	高瀬字ミノ 3888 他	18,500 m ²	
2001/6/19	民間	墓地造成	三和字茶園畑 574-1 他	2,237 m ²	
2001/6/19	民間	宅地造成	十二町字浄明寺 64-2 他	5,425 m ²	
2001/6/21	民間	畜舎用地造成	渡里字向原 495-2 他	4,877 m ²	
2001/7/5	民間	排水設備付設	夜明字深田 3739 他	10 m ²	
2001/7/11	民間	宅地造成	十二町字前川 241-5 他	845 m ²	
2001/7/25	民間	店舗新築	渡里字佐屋ノ元 3-1 他	3,140 m ²	
2001/7/30	民間	敷地造成	山田字山ノ口 1223-1	4,000 m ²	
2001/8/15	民間	アパート建設	三和字前田 245-1 他	651 m ²	
2001/9/25	民間	無線基地局建設	夜明字北方谷 86-2	100 m ²	
2001/10/9	公共	市道建設	内河野字平林 172-1 他	170 m ²	一部次年度試掘調査実施
2001/10/15	民間	アパート建設	三和字喜四郎 155 他	1,705 m ²	
2001/10/18	民間	住宅建設	有田字西ノ追 933-3	135 m ²	
2001/11/28	公共	市営住宅建設	小迫字小迫ノ上 352-31 他	4,689 m ²	
2001/11/30	公共	農業基盤整備	夜明字エゴ 1851-1 他	3,700 m ²	次年度試掘調査実施予定
2001/12/28	民間	農地造成	小野字柳野 2294-1 他	4,149 m ²	
2002/1/25	民間	駐車場用地造成	竹田新町 687-1 他	1,846 m ²	
2002/1/30	民間	貸店舗用地造成	十二町字水町 671-2 他	1,830 m ²	
2002/1/31	民間	工場建設	西有田字上スダリ 459 他	37,000 m ²	次年度試掘調査実施
2002/2/18	民間	倉庫用地造成	庄手字堤の外 652-16 他	27,310 m ²	
2002/2/20	民間	資材置場造成	高瀬字辻原 1809-1 他	1,475 m ²	次年度試掘調査実施
2002/2/22	民間	老人福祉館建設	三和字貞清ノ上 1272-2 他	4,658 m ²	次年度試掘調査実施
2002/2/20	民間	岩石採取	内河野字鹿廻 1711-3 他	21,821 m ²	
2002/2/18	民間	用地売却	丸山1丁目9-1	565 m ²	次年度試掘調査実施
2002/3/7	民間	資材置場造成	石井字津辻の前 1904-1	1,681 m ²	



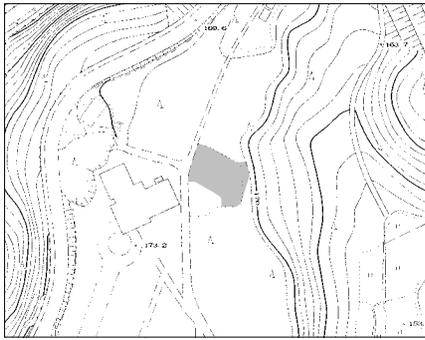
日田条里隣接地 (1/5,000)



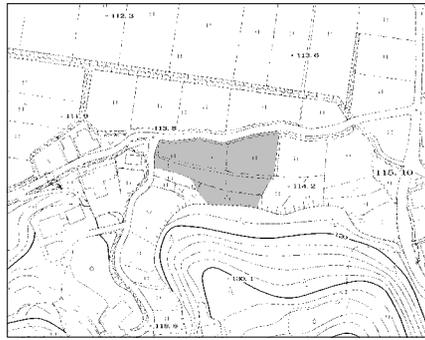
君迫遺跡隣接地 (1/5,000)



日田条里前田地区 (1/5,000)



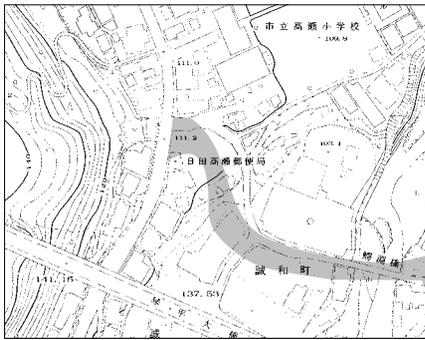
葛原遺跡 (1/5,000)



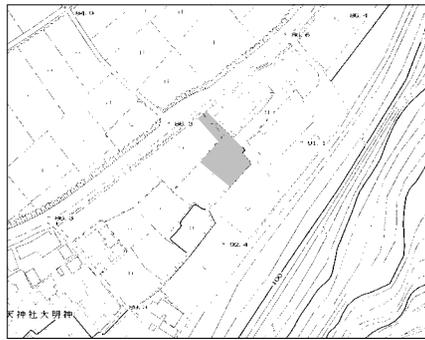
平島遺跡 (1/5,000)



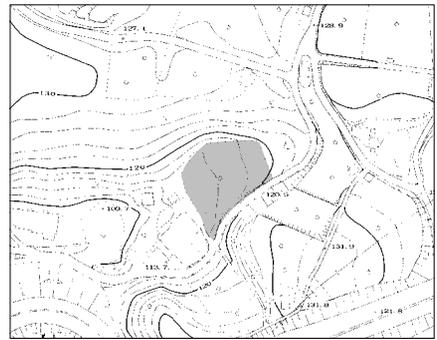
朝日ヶ丘遺跡 (1/5,000)



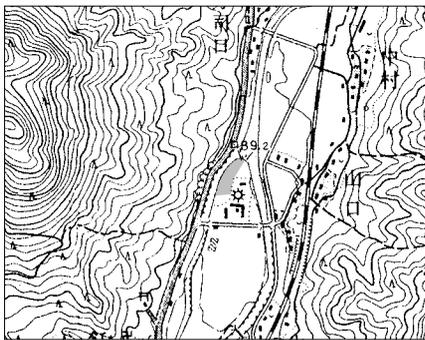
高瀬条里深野田地区 (1/5,000)



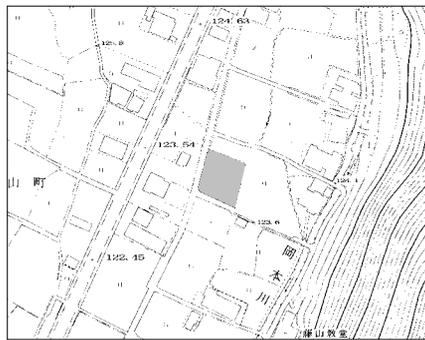
鍛冶屋廻り遺跡 (1/5,000)



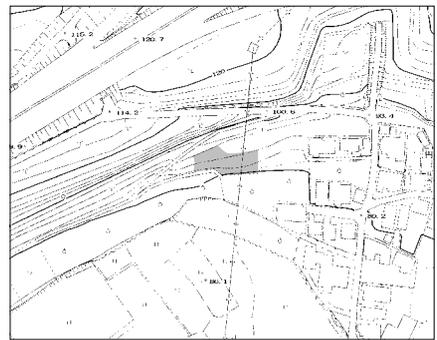
草場第二遺跡隣接地 (1/5,000)



大肥条里中村地区 (1/25,000)



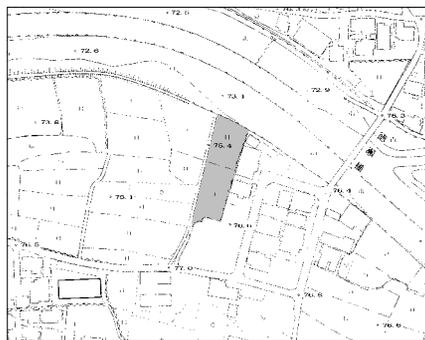
日田条里花月小坪地区 (1/5,000)



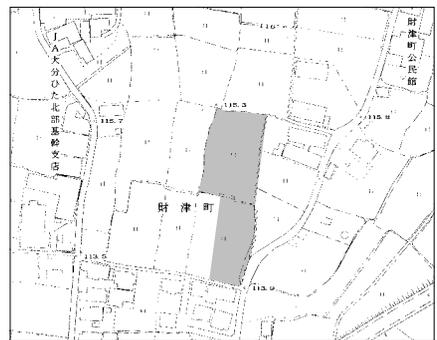
本村遺跡 (1/5,000)



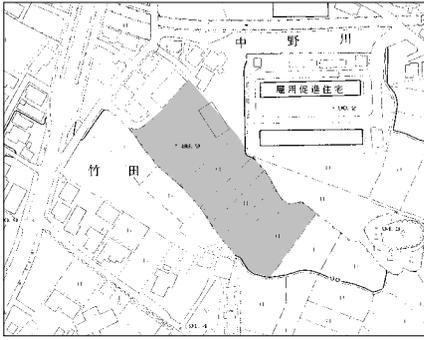
日田条里花ノ木地区 (1/5,000)



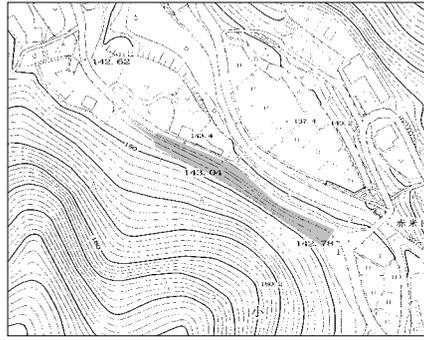
徳瀬遺跡隣接地 (1/5,000)



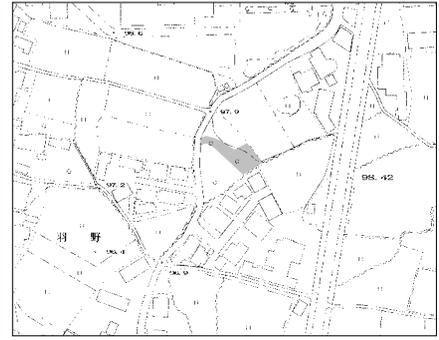
三和教田遺跡I地点 (1/5,000)



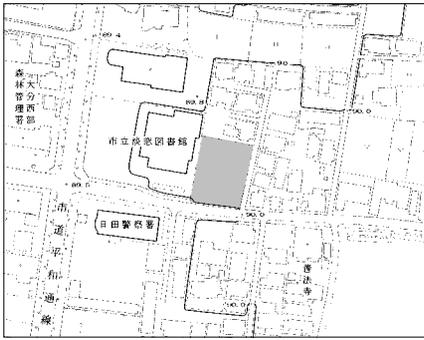
会所山遺跡隣接地 (1/5,000)



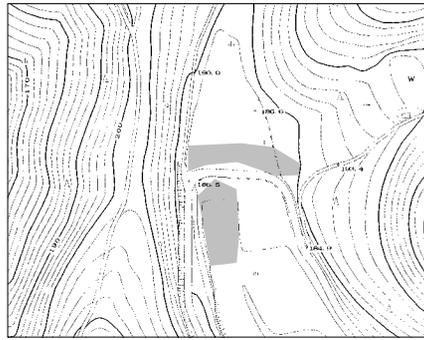
赤米田遺跡 (1/5,000)



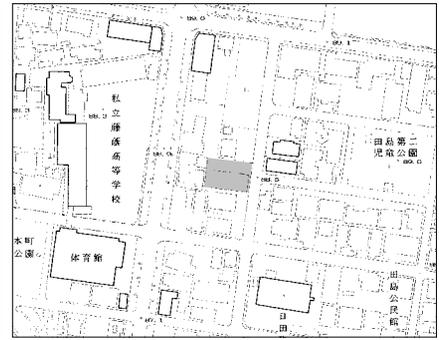
日田条里五反田地区 (1/5,000)



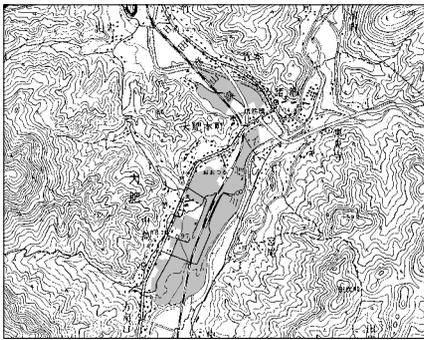
日田条里高外場地区 (1/5,000)



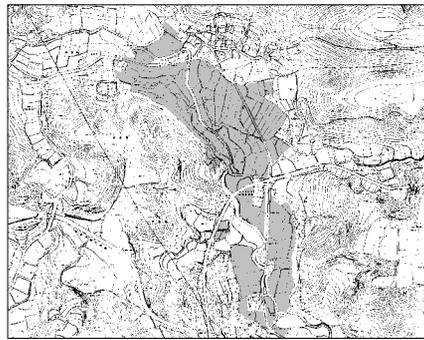
柴尾遺跡隣接地 (1/5,000)



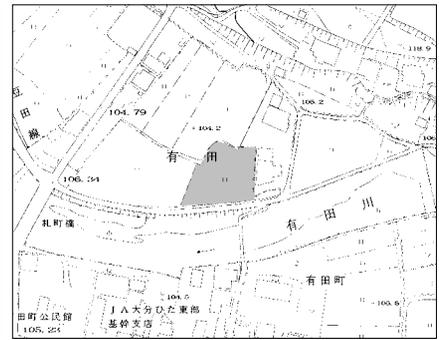
日田条里飛矢地区 (1/5,000)



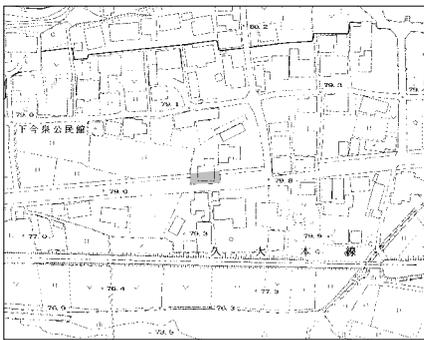
大肥条里大肥地区 (1/25,000)



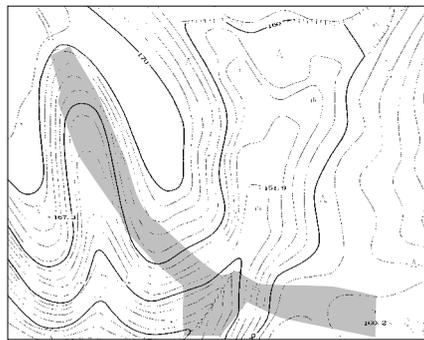
求来里平島遺跡他 (1/20,000)



小寒水遺跡 (1/5,000)



今泉遺跡 (1/5,000)



葛原遺跡 (1/5,000)

主な試掘調査の概要

12. 葛原遺跡 K 区 - 駐車場造成に伴う試掘調査 -

所在地 西有田字葛原810-1

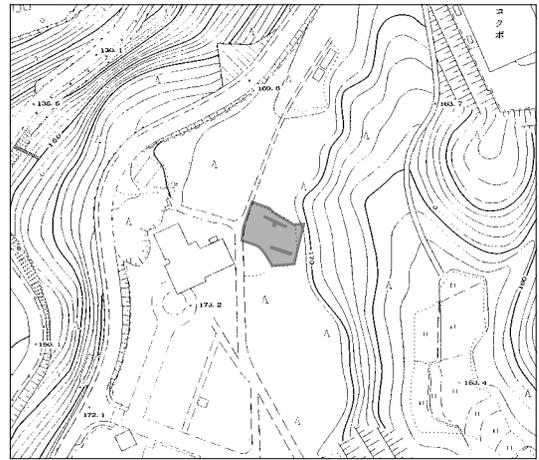
調査面積 40m²

調査の期間 0612~0613

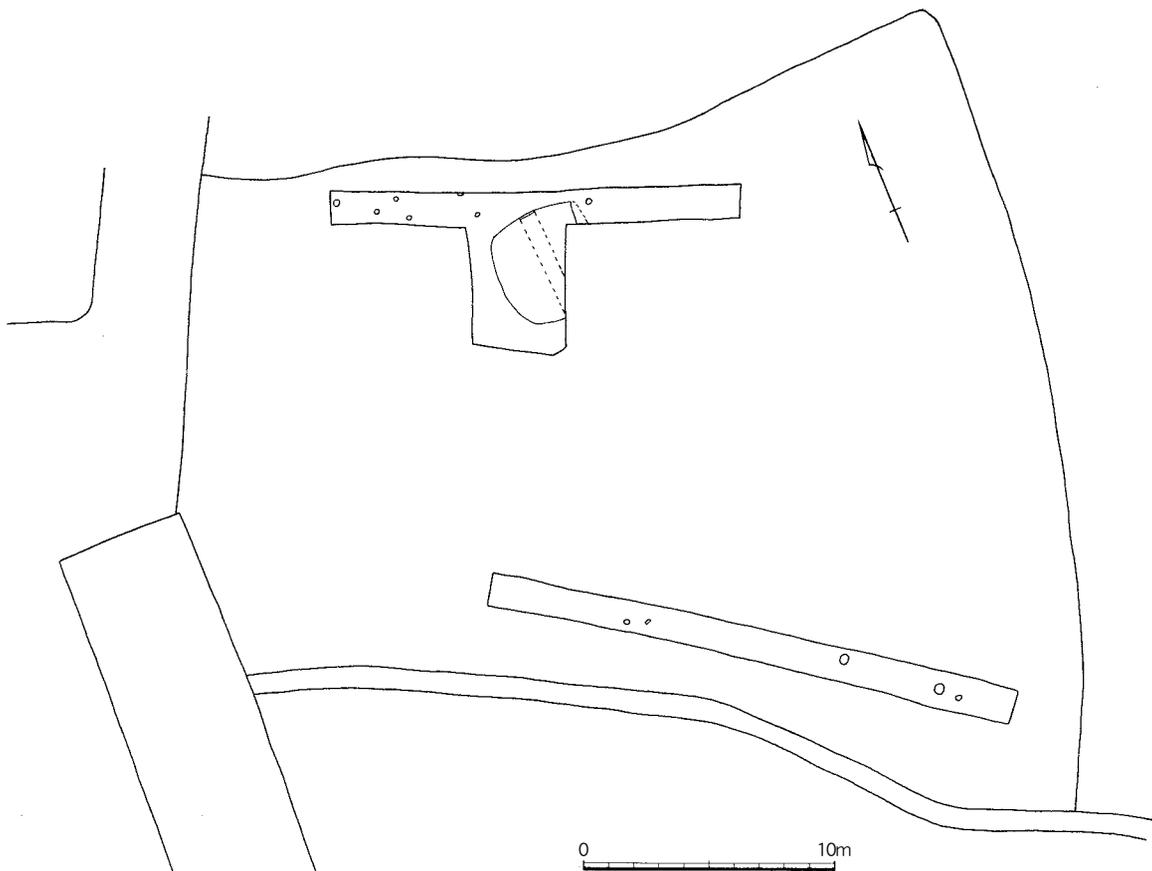
担当者 行時志郎

遺跡の概要

調査では工事予定区域内に2ヶ所のトレンチを設定し、機械により地山面まで掘下げ、遺構検出、遺構の一部掘下げを行った。その結果、弥生時代の竪穴住居跡や柱穴が分布していることが判明し、集落の広がりを確認することができた。遺物は弥生土器のほか、縄文土器も出土した。工事については、簡易な盛土工法で行うため、全面発掘は行わずに、写真撮影、実測を行った後に埋め戻した。



遺跡位置図 (1/5,000)



トレンチ配置図 (1/300)

16. 鍛冶屋廻り遺跡 —宅地造成に伴う試掘調査—

所在地 小迫字中村73

調査面積 30㎡

調査の期間 0723～0725

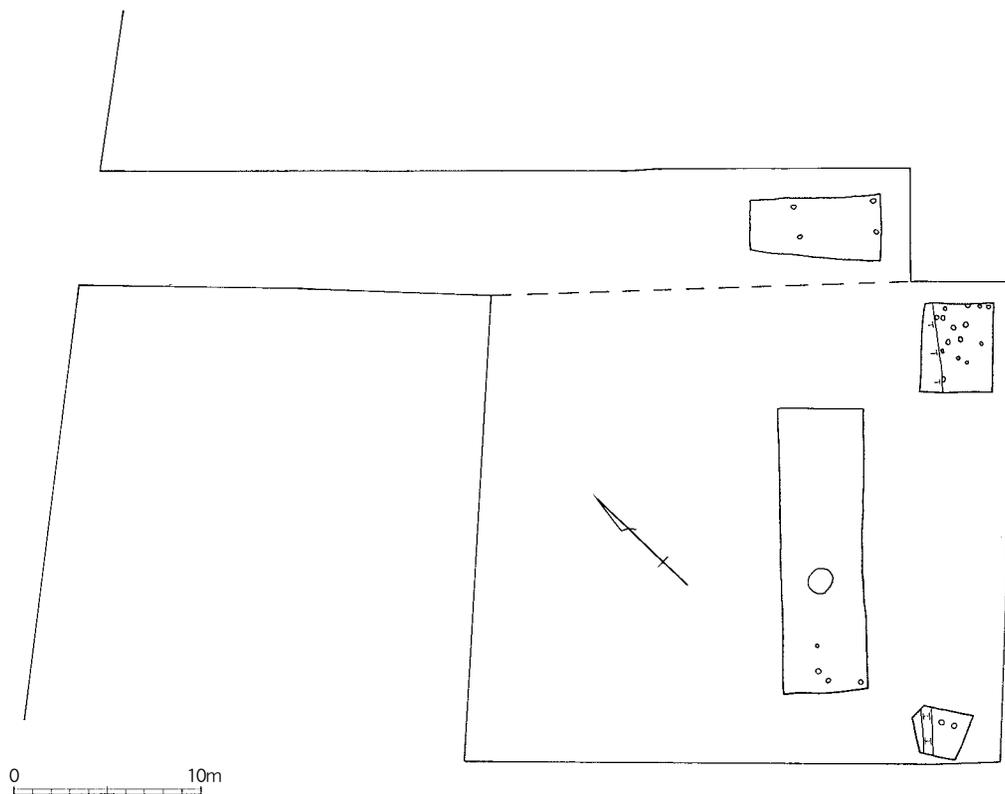
担当者 行時志郎

遺跡の概要

調査では工事予定区域内に4ヵ所のトレンチを設定し、機械により地山面まで掘下げ、遺構検出、遺構の一部掘下げを行った。その結果、弥生時代及び中世の土坑・柱穴が確認され吹上遺跡・小迫辻原遺跡の存在する台地に挟まれた谷部での集落の存在が確認され、本村遺跡と同様な集落が存在することが想定された。遺物は弥生土器、土師器が出土した。工事については道路部分や法面カットなどの工法で行われるものの、掘削は遺構面まで及ばないことから全面発掘は行わずに写真撮影、実測を行った後、埋め戻した。



遺跡位置図 (1/5,000)



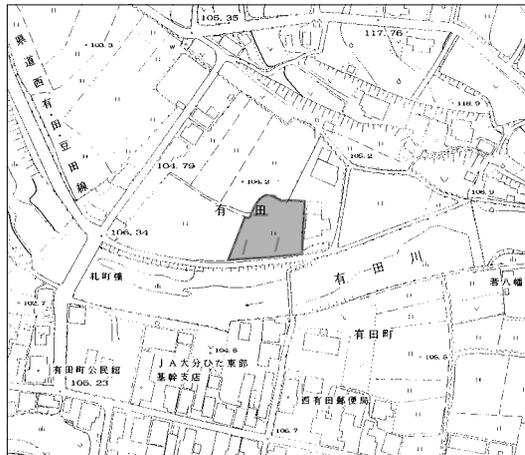
トレンチ配置図 (1/400)

32. 小寒水遺跡 ー宅地転用に伴う試掘調査ー

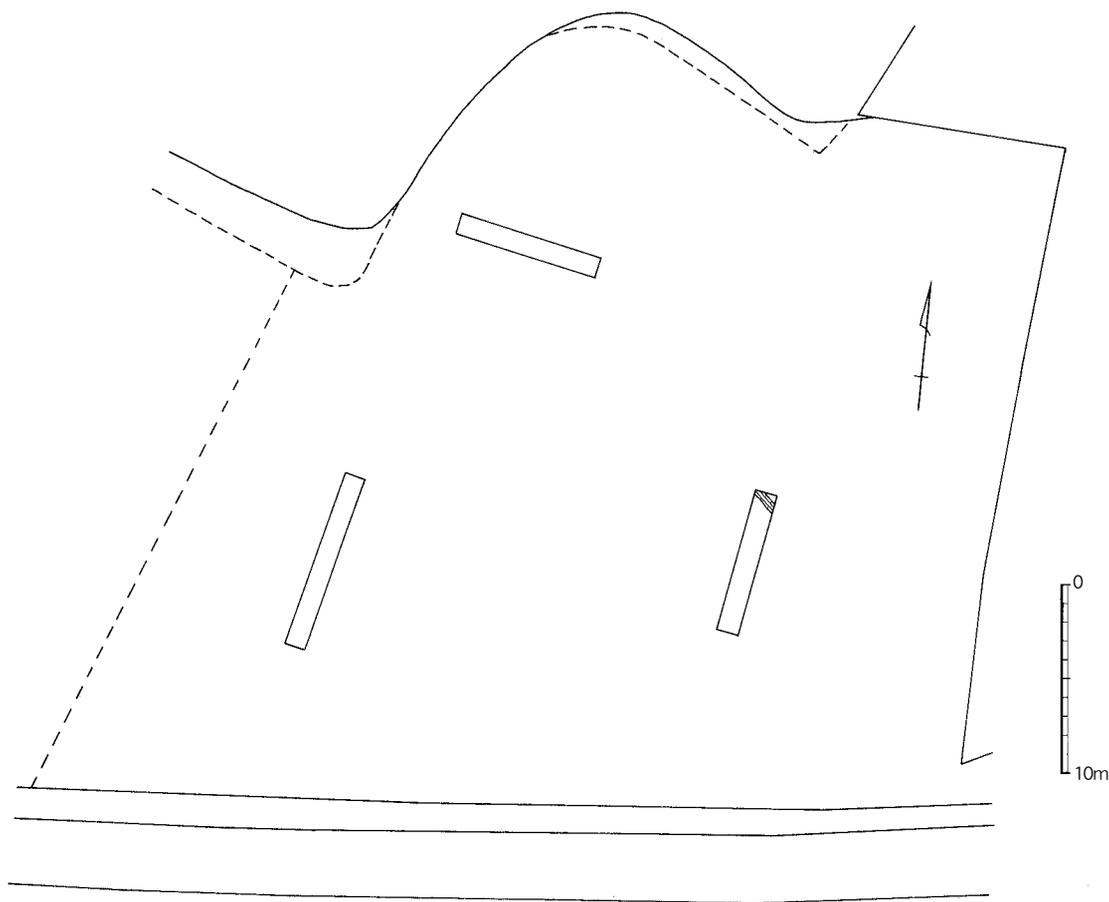
所在地	有田字五反田1539-1ほか	調査面積	30m ²
調査の期間	0325	担当者	渡邊隆行

遺跡の概要

調査では工事予定区域内に3ヶ所のトレンチを設定し、機械により地山面まで掘下げ、遺構検出、遺構の一部掘下げを行った。その結果、古代の溝1条と土師器が数点確認された。工事については盛土工法で行うため、全面発掘は行わずに、写真撮影、実測を行った後に埋め戻した。



遺跡位置図 (1/5,000)



トレンチ配置図 (1/400)

II 埋蔵文化財センター移転事業

現在、埋蔵文化財センター（市役所別館）・文化課（市役所本庁舎）・遺物収蔵庫（市役所別館・廃校校舎）と分散している施設を一元化し、事務の軽減・出土遺物の集中管理を目的として、平成12年度より日田市南友田町に所在する日本道路公団日田工事事務所跡地への移転を進めてきた。今年度は公団事務所の改装工事終了後、埋蔵文化財センターの整理作業室ならびに全ての収蔵遺物の移転が完了し、平成13年11月より新施設での整理作業が開始された。



埋蔵文化財センター



整理作業風景

Ⅲ 平成13年度の埋蔵文化財普及・啓発事業

1) 大肥条里吉竹地区体験発掘

大肥条里吉竹地区の発掘調査中（詳細P6）の平成13年4月25・26日に地元の静修小学校の4～6年生117名を対象として発掘体験を行った。これは、小学生に地元の歴史や文化財に触れてもらおうと行ったものである。まず、担当者が大明地区の歴史を日本の歴史や日田の歴史、遺跡の話を変えながら説明を行った。その後、遺跡内の遺構の見学や出土した遺物を実際に手に触れたのち、大流路部分を担当者や作業員の指導の下、発掘の体験を行った。



体験発掘風景

2) 穴観音古墳現地説明会

穴観音古墳の調査成果（詳細P22）の内容と意義について広く市民一般に公開する目的で、平成14年3月24日（日）に現地説明会を市教育委員会の主催で開催した。午前と午後の2回に分けて行い、合わせて101名の参加があった。説明会ではまず担当者が調査の成果や意義を説明したのち、古墳周囲に設定、掘り下げを行ったトレンチに入り、周溝や版築の見学を行った。また、装飾の退色や石材の劣化による危険性などから一般公開を中止していた横穴式石室の公開も特別に行った。見学者は数人ずつのグループに分かれて、石室内に入り市教育委員会の担当者の説明を受けた。



現地説明会風景1



現地説明会風景2

3) 平成13年度の刊行物一覧

	書名	巻次	体裁	総ページ	内容
1	平成12年度(2000年度) 日田市埋蔵文化財年報	-	A4	48	平成12年度に日田市教育委員会が行った埋蔵文化財調査事業、埋蔵文化財保護事業、埋蔵文化財普及および啓発事業などを所収。
2	内ノ下遺跡	33	A4	45	広域農道建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の成果、古墳時代～古代の竪穴住居跡、掘立柱建物などを所収。
	大行事遺跡				広域農道建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の成果、縄文時代の遺物、弥生時代の竪穴住居跡、中世の溝・土坑などを所収。
3	日田条里上手地区Ⅲ	34	A4	94	宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の成果、古代の掘立柱建物跡・土坑、中世の掘立柱建物を所収。
	高瀬条里永平寺地区				宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の成果、縄文時代、弥生時代～古墳時代の竪穴住居跡、中世の溝・掘立柱建物・土坑などを所収。
	尾部田遺跡				宅地造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の成果、縄文時代、弥生時代～古墳時代の竪穴住居跡、古代の溝・竪穴住居跡・掘立柱建物・土坑を所収。
4	後追遺跡	35	A4	139	農道建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の成果、弥生時代の竪穴住居跡・甕棺墓・土坑・溝、古墳時代の石棺墓、古代の掘立柱建物・竪穴、中世の溝などを所収。
5	高瀬条里深野田地区	36	A4	17	市道建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の成果、縄文時代の土坑、古墳時代の竪穴遺構を所収。
6	今泉遺跡	37	A4	23	市道建設工事に伴う埋蔵文化財発掘調査の成果、弥生時代～古代の竪穴住居跡、溝を所収。

IV 平成13年度埋蔵文化財センター受領図書一覧

書名	寄贈者	刊行年	書名	寄贈者	刊行年
東京都			史跡和歌山城	(財)和歌山市文化体育振興事業団	2000
豊後国・肥前国風土記 ビデオ「風土記～古代への扉～」	紀伊國屋書店映像情報部	2001	米町遺跡2 第2地点の調査	〃	2001
発掘された日本列島95-99	文化庁	1999	長野小西田遺跡2	〃	2001
長野県			長野角屋敷遺跡2	〃	2001
南宮遺跡II (第一分冊・第二分冊)	〃	1999～2000	木屋瀬宿本陣跡・脇本陣跡3	〃	2001
南宮遺跡II (第三分冊)	〃	2002	金丸遺跡3	〃	2000
長野吉田高校グラウンド遺跡II	〃	2001	野口遺跡群	那珂川町教育委員会	2001
川田氏館跡 岩崎遺跡	〃	2001	安徳原田遺跡群	〃	2001
徳間榎田遺跡	〃	2001	鳴神VI遺跡	〃	2001
長野市埋蔵文化財センター所報 No.12	〃	2001	和歌山市埋蔵文化財発掘調査年報6	〃	2000
静岡県			島根県		
三島市文化財年報第12号	三島市教育委員会	2000	茂芳日遺跡 布志名遺跡 大堤II遺跡 大堤I遺跡	日本道路公団中国支社	2001
多呂ノ前遺跡	〃	2001	樺ノ木古墳群 真野谷遺跡 杉谷遺跡 室山遺跡	島根県教育委員会	
史跡 山中城跡	〃	2001	ガラスのさきやき 古代出雲のガラスを中心に	島根県立八雲立つ風土記の丘	2001
箱根旧街道石畳 整備事業の概要	〃	2001	松江市手間古墳発掘調査報告	島根大学法文学部考古学研究室	2002
三島市文化財年報第13号	〃	2001	岡山県		
三島市埋蔵文化財発掘調査報告VII	〃	2002	史跡保存整備事業	岡山市教育委員会	2001
押切遺跡	〃	2002	岡山市埋蔵文化財調査の概要 1999 (平成11)年度	〃	2001
初音ヶ原B遺跡 第4地点	〃	2002	三手向原遺跡	〃	2001
史跡 山中城跡	〃	2002	足守藩武家屋敷跡	〃	2001
十二所居館	浅羽町教育委員会	2001	山口県		
浅羽町内遺跡発掘調査報告書I	〃	2002	大崎遺跡	財団法人山口県教育財団 山口県埋蔵文化財センター	2002
大阪府			陶ケン第14号	〃	
高槻市文化財年報 平成11・12年度	高槻市教育委員会	2001～2002	あやらぎNo.5	下関市考古博物館	2001
高槻城キリシタン墓地	〃	2001	研究紀要 第5号	〃	2001
嶋上遺跡群25・26	〃	2001～2002	下関市立考古博物館年報6 平成12年度	〃	2001
勝福寺古墳測量調査報告書	大阪大学大学院文学研究科考古学研究室	2001	弥生時代・日本海地域の交流	〃	2001
史跡・今城塚古墳	高槻市教育委員会	2001	徳島県		
待兼山遺跡III	大阪大学埋蔵文化財調査委員会	2001	徳島市埋蔵文化財発掘調査概要10	徳島市教育委員会	2000
池島・福万寺遺跡つてなゐに?	(財)大阪府文化財調査研究センター	2000	阿波国府跡発掘調査報告書2000.3、2001.3	〃	2000～2001
弥生時代前期の区画墓	〃	1997	徳島市文化財だより 平成12、13年度	〃	2000～2001
発掘速報展大阪 大河内展	〃	2002	徳島市埋蔵文化財発掘調査概要11	〃	2001
発掘速報展大阪2001	大阪府立近つ飛鳥博物館(財)大阪府文化財調査研究センター	2001	塩飽諸島	徳島文理大学文学部文化財学科	2001
大仙西町遺跡(DSW-2) 堺環濠都市遺跡(SKT735)	堺市教育委員会	2001	愛媛県		
丈六池遺跡(JRO-5)	〃		大洲遺跡1・2次調査	財団法人松山市生涯学習振興財団埋蔵文化財センター	2000
堺環濠都市遺跡(SKT177)	〃	2001	播磨塚天神山古墳	〃	2001
堺環濠都市遺跡(SKT750)	〃		福音寺地区の遺跡III 筋違L・N遺跡	〃	2001
堺環濠都市(SKT762) 堺環濠都市遺跡(SKT701) 長曾根遺跡・VII	〃	2001	福岡県		
堺環濠年遺跡(SKT769) 堺環濠都市遺跡(SKT764) 大野寺跡(OOT-10)	〃	2001	徳永川ノ上遺跡F地区	豊津町教育委員会	2001
堺環濠都市遺跡(SKT754)	〃	2000	上穂波地区遺跡群4	筑穂町教育委員会	2001
陶巴窯跡群	〃	2001	福岡県大学総合研究所報第240集	福岡大学総合研究所	2000
堺埋蔵文化財だより 堺市立埋蔵文化財センター報第14号	堺市立埋蔵文化財センター	2001	福岡県岐志元村遺跡	〃	2000
平成12年度国庫補助事業発掘調査報告書	〃	2001	佐賀県大友遺跡	〃	2001
泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成12年度	泉佐野市教育委員会	2001	垣生羅漢山遺跡群	中間市教育委員会	2001
若宮・上町東遺跡	〃	2001	筑後国府跡 第168次調査	久留米市教育委員会	2000
兵庫県			格屋敷遺跡	〃	2000
南所3号墳試掘報告	大手前大学考古学研究会	2001	大谷古墳群 第1・2次調査	〃	2000
奈良県			久留米市埋蔵文化財調査集報III	〃	2000
文化財学報 第19集	奈良大学文学部文化財学科	2001	筑後国府跡 第170次調査	〃	2000
埋蔵文化財ニュース 105号～108号	奈良文化財研究所埋蔵文化財センター	2001～2002	久留米市城下町遺跡 第十四次調査	〃	2001
和歌山県			筑後国府跡 第169次調査	〃	2001
発掘物語2001 平成13年春季特別陳列	(財)和歌山市文化体育振興事業団	2001	旗原遺跡 第2次調査	〃	2001
			筑後国府跡 第173次調査報告	〃	2001
			横道遺跡II	〃	2001
			金丸遺跡II 第3次調査	〃	2001
			久留米市内遺跡群 平成12年度	〃	2001
			木屋瀬宿本陣跡・脇本陣跡1	(財)北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室	2000
			御座遺跡第16地点	〃	2000
			貫・井手ヶ本遺跡3	〃	2001
			小倉城御普所跡	〃	2001

書名	寄贈者	刊行年	書名	寄贈者	刊行年
下石田遺跡	(財)北九州市教育文化事業団 埋蔵文化財調査室	2000	太宰府条坊跡XVI 原遺跡I	太宰府市教育委員会 "	2001 2000
長野フンデ遺跡2-4区の調査	"	2001	寺福堂遺跡2	小郡市教育委員会	2001
松木遺跡IV	"	2001	干潟猿山遺跡	"	2001
手野古墳群	岡垣町教育委員会	1999	横隈仕解田遺跡	"	2001
南ノ前古墳群	"	2000	三沢蓬ヶ浦遺跡2	"	2001
墓ノ尾遺跡第2地点・山下遺跡	"	2000	横隈十三塚遺跡2	"	2001
長尾古墳群	"	2001	干潟遺跡6	"	2001
糠塚遺跡群	"	2001	横隈上内畑遺跡3	"	2001
上北島塚ノ本遺跡	筑後市教育委員会	2001	力武内畑遺跡4	"	2001
筑後北部第二地区遺跡群II	"	2001	三沢蓬ヶ浦遺跡4	"	2001
筑後市内遺跡群II	"	2001	三沢寺小路遺跡2	"	2001
筑後西部第2地区遺跡群(IV)	"	2001	小郡若山遺跡6	"	2001
筑後東部地区遺跡群V	"	2001	大保西小路遺跡2	"	2001
筑後東部地区遺跡群VI	"	2001	太宰府条坊跡XVIII	太宰府市教育委員会・玉川文化財研究所	2001
前原市内文化財整備基本計画	前原市教育委員会	1998	太宰府・佐野地区遺跡群XII	"	2001
JR筑肥線複線化用地内遺跡群	"	2000	田主丸大塚古墳	田主丸町教育委員会	2001
前原西町遺跡	"	2000	国指定史跡 寺徳古墳 墳丘範囲確認調査	"	2001
有田塞ノ本遺跡	"	2000	西館古墳	"	1996
神在横島遺跡	"	2000	耳納北麓の装飾古墳	"	
飯原門口遺跡	"	2001	佐賀県		
萩浦天神神社裏古墳	"	2001	不動山窯跡群・吉田1号窯跡	嬉野町教育委員会	1998
蔵持堺遺跡	"	2001	嬉野町の古陶窯跡	"	1998
高田小生水遺跡	"	2001	武雄市内遺跡発掘調査報告書(平成3年度～11年度)	佐賀県武雄市教育委員会	2001
高祖遺跡群III	"	2001	菅牟田荒谷遺跡	唐津市教育委員会	2001
三坂七尾遺跡	"	2001	東山I遺跡	"	2001
福岡県埋蔵文化財発掘調査年報 平成11年度	福岡県教育委員会	2001	外原遺跡	"	2001
仁右衛門畑遺跡II	"	2001	衣干古墳群	"	2001
船越高原A遺跡II	"	2001	半田新田遺跡	"	2001
西新町遺跡III	"	2001	千々賀遺跡	"	2001
内ヶ磯窯跡I	"	2001	唐津市内遺跡確認調査(17)	唐津市教育委員会	2001
上唐原了清遺跡III	"	2001	高志神社遺跡	千代田町教育委員会	2000
福岡県埋蔵文化財発掘調査年報 平成10年度	"	2001	姉遺跡(Ⅲ区の調査)	"	2000
原田・鎌田原遺跡	嘉穂町教育委員会	1997	志田東山2号窯跡調査概報	佐賀県塩田町教育委員会	2001
玄海灘における海底遺跡の探査と確認調査	九州大学大学院考古学研究室	2001	京町遺跡	鳥栖市教育委員会	1997
小深町遺跡 福岡県大川市所在遺跡の調査	大川市教育委員会	2001	今泉遺跡	"	1997
芦屋町山鹿地区芦屋層群漸新世化群調査報告	芦屋町教育委員会	2000	西田遺跡	"	1998
芦屋町歴史民俗資料館年報第2号 平成12年度	"	2001	勝尾城下町遺跡	"	1999
豊前の民俗芸能	豊前市無形民俗文化財保存協議会	2001	安永田遺跡	"	2001
平成十三年度特別展	行橋市教育委員会	1999～2001	長ノ原遺跡・神山古墳	"	2001
春日市埋蔵文化財年報6・7・8	春日市教育委員会	1999	加藤田遺跡	"	2001
上平田遺跡	"	1999	長ノ原遺跡	"	2001
大土居水城跡	"	2000	永田古墳群	"	2001
野藤遺跡	"	2000	安永田遺跡	"	2001
大土居水城跡	"	2001	堀田の古唐津 堀田のやきもの4	堀田町歴史民俗資料館	1999
須玖盤石遺跡	"	2001	近世の陶磁器 発掘調査速報展 堀田のやきもの5	"	2001
大荒遺跡・天田遺跡	"	2001	野中遺跡(1区・2区)	佐賀市教育委員会	2001
大坪遺跡	"	2001	石土井遺跡1-1区の調査-	"	2001
古代の器 平成13年度考古企画展	春日市奴国の丘歴史資料館	2001	増田遺跡群V-7区の調査-	"	2001
大野城市の文化財 第33集	大野城市教育委員会	2001	佐賀市埋蔵文化財確認調査報告書 1997・1998年度	"	2001
瑞穂・原ノ畑遺跡	"	2001	上岸川遺跡	"	2001
先ノ野遺跡・慶ノ浦遺跡	遠賀町教育委員会	2001	徳永遺跡10区 徳永遺跡群IV	"	2001
冨地原岩野A	宗像市教育委員会	2001	徳永遺跡12区 徳永遺跡群V	"	2001
三郎丸堂ノ上C	"	2001	上揚遺跡2区 上和泉遺跡群II	"	2001
東郷登り立	"	2002	社遺跡	佐賀県小郡郡三日月町教育委員会	1999
むなかたの文化財	"	2000	仁俣遺跡	"	1999
小田小塚本遺跡	甘木市教育委員会	2001	国営吉野ヶ里歴史公園	国土交通省九州地方整備局国営吉野ヶ里歴史公園工事事務所	2001
甘木小池遺跡	"	2001	長崎県		
平塚川添遺跡I	"	2001	矢立山古墳群発掘調査概報(1)	厳原町教育委員会	2001
平塚川添遺跡	"	2002	熊本県		
福岡市埋蔵文化財センター年報第20号	福岡市教育委員会	2001	考古学研究室報告第36集	熊本大学文学部考古学研究室	2001
太宰府条坊跡XVII	太宰府市教育委員会	2001	熊本大学埋蔵文化財調査年報7 2000年度	熊本大学埋蔵文化財調査室	2001
宝満山遺跡群III	"	2001	四反田遺跡	熊本県玉名郡南関町教育委員会	2001
佐野地区遺跡群XI	"	2001	池辺寺跡III	熊本市教育委員会	2001
三条遺跡	"	2001～2002			

書名	寄贈者	刊行年	書名	寄贈者	刊行年
神水遺跡Ⅳ	熊本市教育委員会	2001	難波屋敷	竹田市教育委員会	2001
熊本市埋蔵文化財調査年報第4号 平成11年度	"	2001	平井B遺跡	"	2000
熊本市埋蔵文化財発掘調査報告書 平成11、12年度	"	2001	下石家屋敷跡 下石家東足軽屋敷跡	"	2000
特別史跡 熊本城跡 西出丸(奉行所跡)	"	1999	市道岡城線埋蔵文化財発掘調査報告書	"	2001
二の丸御門跡 南大手門跡 南坂 岩瀬・木柑子遺跡	"	2001	片ヶ瀬遺跡	"	2001
坂口遺跡・石清水遺跡	"	2001	中川午之助屋敷群 久戸谷近世墓地群	"	2000
扇ノ坂A遺跡・堂迫平遺跡	"	2001	三光村の遺跡	三光村教育委員会	2001
考古学研究室報告第37集	熊本大学文学部考古学研究室	2002	塚田の遺跡	天瀬町教育委員会	2001
大分県			塩屋条里遺跡 安岐町文化財調査報告書第9集	安岐町教育委員会	2001
大悟法条里跡池ノ下地区 福島遺跡人垣地区 長者屋敷遺跡	中津市教育委員会	2001	宮崎県		
長者屋敷遺跡	"	2001	三股町内遺跡Ⅰ	三股町教育委員会	2001
下ノ山遺跡	大分県教育委員会	2001	内小野遺跡	宮崎県えびの市教育委員会	2000
清太郎遺跡	"	2001	天神免遺跡	"	2000
大波羅遺跡	"	2001	島内地下式横穴墓群	"	2001
富貴寺遺跡(東地区)	"	2001	昌明寺遺跡	"	2001
虫喰谷遺跡	"	2001	東川北地区遺跡群	"	2001
畑田遺跡	"	2001	長江浦地区遺跡群	"	2002
安国寺遺跡	"	2001	東川北地区遺跡群	"	2002
大園遺跡	"	2001	小岡丸地区遺跡群	"	2002
毛井遺跡A地区	"	2001	後平第2遺跡	"	2002
二目川遺跡	"	2001	的野遺跡	宮崎県高岡町教育委員会	2001
上野遺跡群大分上野丘高校地区	"	2001	三生江遺跡	"	2001
行者原狐塚古墳	"	2001	中原遺跡	"	2001
四山社製糸工場跡・旧古町橋跡・吉田家屋敷跡	"	2001	日南市内遺跡発掘調査概報 平成12年度	宮崎県日南市教育委員会	2001
武藤家屋敷跡・上家屋敷跡・由学館跡・浮殿遺跡	"	2001	楠原坂ノ下遺跡	"	2001
都野原田遺跡Ⅴ	"	2001	内宮田遺跡 柳迫遺跡 中別府遺跡	宮崎県埋蔵文化財センター	2001
尾道遺跡	"	2001	木城村古墳27号・60号横穴墓	"	2000
城前遺跡	"	2001	梅ヶ島遺跡 大辻屋敷遺跡	"	2001
後迫遺跡	"	2001	権現原第2遺跡 杉木原遺跡 永ノ原遺跡	"	2001
日田市高瀬遺跡群の調査3 上野第1遺跡	"	2001	木城原遺跡	"	2001
大分県埋蔵文化財年報9 平成11(1999)年度版	"	2001	井尻遺跡 雀田遺跡 沖ノ田遺跡	"	2001
豊後への道	"	2001	元地原遺跡	"	2001
大分県シン垣	大分県教育委員会	2001	大岩田上村遺跡	"	2001
釣遺跡・春田遺跡A・B地区	大分県九重町教育委員会	2000	町屋敷遺跡	"	2001
回顧 二日市洞穴25th 開館記念特別展	"	2000	上ノ迫遺跡	"	2001
史跡安国寺集落遺跡整備事業報告書	国東町教育委員会	2001	虎崩・榎木田遺跡 黒勢戸・上示野原遺跡	"	2001
原遺跡(餅田3・4地区) 原遺跡(原ノ下1・2地区)	"	2001	梅北佐土原遺跡 中尾遺跡 養原遺跡	"	2001
原遺跡(亀井1地区) 原遺跡(平原1地区) 原遺跡(七郎丸1地区)	"	2001	木脇遺跡	"	2001
国史跡 安国寺集落遺跡	"	2001	松元遺跡 井出口遺跡 塚原遺跡	"	2001
国東町の堂宇 富来地区	"	2001	王子原遺跡	"	2001
史跡安国寺集落遺跡整備事業報告書概要版	"	2001	志戸平遺跡(3次) 頭田遺跡	"	2001
五郎丸近世墓地群	千歳村教育委員会	2000	権現原第1遺跡 下星野遺跡	"	2001
鹿道原遺跡 発掘調査報告書	"	2001	倉岡第2遺跡	"	2001
萩山遺跡群	佐伯市教育委員会	2001	東九州自動車道(都野～西都間) 関係埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅰ 石葛ヶ迫遺跡	"	2001
三重地区遺跡群発掘調査概報Ⅴ	三重町教育委員会	2001	南学原第1遺跡 南学原第2遺跡	"	2002
宇佐地区遺跡群発掘調査概報Ⅶ	宇佐市教育委員会	2001	内城跡	"	2002
上野 柳ヶ谷 島巡り 相原政所 桜山 大内ヶ迫 宮ノ谷 麦田ノ上遺跡	豊後高田市教育委員会	2000	白ヶ野第2・第3遺跡	"	2002
高宇田条里遺跡 高宇田条里遺跡貝元地区	"	2000	藏座村遺跡	"	2002
豊後高田地区遺跡群発掘調査概報ⅩⅥ	"	2000	柿迫遺跡 龍泉寺遺跡	"	2002
豊後高田地区遺跡群発掘調査概報ⅩⅦ	"	2001	下屋敷遺跡	"	2002
荒田遺跡	白杵市教育委員会	2001	上ノ原遺跡	"	2002
国宝白杵磨崖仏保存修理工事報告書	"	1997	迫内遺跡	"	2002
田篠台遺跡Ⅱ	"	1994	本城跡	"	2002
下中野遺跡	"	1996	白ヶ野第2・第3遺跡 上の原第1遺跡	"	2002
白杵石仏群地域遺跡	"	1999	母智丘谷遺跡・畑田遺跡・嫁坂遺跡	"	2002
史跡岡城跡ⅩⅤ	竹田市教育委員会	2000	東九州自動車道(都農～西都間) 関係埋蔵文化財発掘調査概要報告書Ⅱ 平成13年度	"	2002
史跡岡城跡ⅩⅥ	"	2000	池内横穴墓群発掘調査整理報告書	宮崎県教育委員会・池内横穴墓群調査整理委員会	1997
竹田地区遺跡群・城下町遺跡群Ⅲ	"	2000	西都原遺跡 日向国分寺跡	宮崎県西都市教育委員会	2001
竹田地区遺跡群	"	2001	平成12年度 西都原古墳研究所・年報第17号	"	2001
管生台地と周辺遺跡ⅩⅥ 西園南遺跡	"	2000	史跡 生目古墳群	宮崎市教育委員会	2001
			深田遺跡	"	2001
			間越遺跡	"	2001
			黒草第2遺跡	宮崎県宮崎郡田野町教育委員会	2001

書名	寄贈者	刊行年	書名	寄贈者	刊行年
元野河内遺跡	宮崎県宮崎郡田野町教育委員会	2001			
スクノ山第1遺跡	"	2001			
スクノ山第2遺跡F地区	"	2002			
横市地区遺跡群 馬渡遺跡(第2次調査)・坂元A遺跡	宮崎県都城市教育委員会	2001			
町内遺跡発掘調査報告書	宮崎県北諸郡高城町教育委員会	2000			
山城第1遺跡	"	2001			
高城町の文化財	"	2001			
三股町内遺跡II	宮崎県三股町教育委員会	2002			
縄文集落 本野原遺跡	"	2002			
北郷町内遺跡発掘調査概要報告書 1999・2000年度	宮崎県北郷町教育委員会	2001			
田中遺跡	"	2001			
鹿児島県					
国史跡 隼人塚 山跡遺跡発掘調査概報	隼人町教育委員会	1998			
上野原遺跡(第10地点)第4分冊～第10分冊	鹿児島県立埋蔵文化財センター	2001			
竹ノ山A・B遺跡	"	2001			
榎堀遺跡(日置郡松元町)西ノ原B遺跡(日置郡松元町)	"	2001			
一ノ谷遺跡(日置郡伊集院町)	"	2001			
大龍遺跡・大龍遺跡B地点	鹿児島市教育委員会	2001			
個人					
東アジアの囲壁・環濠集落歴史	小沢 佳恵	2001			
東京都					
港郷土資料館館報18 平成11年度版	港区郷土資料館	2001			
資料館だより第43号～47号	"	2000～2001			
研究紀要6 平成13年	"	2001			
港郷土資料館館報19 平成12年度版	"	2001			
色と人をめぐる文化誌	"	2001			
どんなふうに、見えるかな?	"	2001			
民族資料目録第1集大工道具1	"	2001			
仏教文化講座 浅草寺 平成12年度	浅草寺	2001			
長野県					
上田の荘園と武士	上田市教育委員会 市誌編さん室	2001			
室町・戦国時代の争乱	"	2001			
愛知県					
みんなの豊橋 21世紀に伝えたい豊橋の姿	豊橋市文化課	2001			
兵庫県					
瓦一近代の酒蔵所用	大手前大学考古学研究室	2001			
福岡県					
歴史散歩 No.1	久留米市教育委員会				
歴史散歩 No.13・No.14	"				
遠賀川その恵みと歴史展	水巻町歴史資料館	2001			
小石原村誌	小石原村	2001			
熊本県					
懐しの風景展 展示図録	山鹿市立博物館	2000			
ふるさとに汽車が走ったところ					
弥生人のくらしと祭り展	"	1998			
大分県					
窪田治部衛門様御賜書留	日田市教育委員会	2001			
九重町歴史資料館年報	大分県九重町教育委員会	2001			
大分県立歴史博物館年報 平成12年度	大分県立歴史博物館	2001			
おおいた歴史博No.10	"	2001			
第19回特別展 豊後国の眺め	大分市歴史資料館	2000			
第20回特別展 江戸紀行	"	2000			
大分市歴史資料館年報(平成11年度・12年度)	"	2000			
大分市歴史資料館ニュース No.49～No.51	"	2000			
大分市歴史資料館ニュース No.53～No.55	"	2001			
その他					
東京都					
「日本のわざと美」展	文化庁文化財部伝統文化課	2001			
第36回重要無形文化財を保持する人々 人間国宝新作展	毎日新聞社	2001			
福岡県					
西日本文化第375号	(財)西日本文化協会	2001			

平成 13 年度 (2001 年度)

日 田 市 埋 蔵 文 化 財 年 報

発行日 平成 14 年 12 月 27 日

編 集 日田市教育委員会

発 行 〒 877-8601

大分県日田市田島 2 - 6 - 1

日田市教育委員会

印 刷 三光堂印刷所